

美浜発電所 3 号機
高浜発電所 1, 2, 3, 4 号機
大飯発電所 3, 4 号機

火災防護対象ケーブルの系統分離対策に係る
設計及び工事計画（変更）認可申請

補足説明資料
別添

2023年5月
関西電力株式会社

別添 1

美浜 3 号機

電線管等に敷設する火災防護対象ケーブルの系統分離対策

別添 1-1

美浜 3 号機

系統分離対策一覧表

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

美浜3号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023年4月28日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。

美浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/2)

(凡例)
 : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対象 系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等 ハ(ロ)		固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							固定火災源	防護対象系列 の電線管		本設工認による処置内容 ^{※2}	火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3}	
火災区画		補助建屋サンブ及び通路エリア	イ	A	A							
火災区画		水素再結合装置エリア	ロ	B	-							
火災区画		1次系ケーブルチェイス	ロ	A	A							
火災区画		余热除去クーラ室前通路エリア	ハ	B	B	電気盤 (B原子炉コントロールセンタ) 電気盤 (R-81A/B補助建屋排気筒高レンジガスモニタサンプリング盤) ケーブルトレイ (A系) 油内包機器 (A1次系純水ポンプ、B1次系純水ポンプ、A薬品ドレンポンプ、B薬品ドレンポンプ) 油内包機器 (A燃料取替用水ポンプ、B燃料取替用水ポンプ)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1]	-	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用)	パターン2
火災区画		D原子炉コントロールセンタ及び通路エリア	ハ	A	A	電気盤 (B補助建屋照明変圧器) ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		換気空調設備エリア	ハ	A	A	電気盤 (Aヒートレーシングトランス、Bヒートレーシングトランス、補助建屋機器搬入口ホイス電源箱) 電気盤 (A原子炉コントロールセンタ) フィルタユニット (B補助建屋送気冷暖房ユニット、格納容器排気フィルタユニット、A補助建屋排気フィルタユニット、B補助建屋排気フィルタユニット) ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (新設) スプリンクラー (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		ほう酸タンク室	ロ	AB	-							
火災区画		リレー室	ロ	AB	-							
火災区画		配線処理室	ロ	B	B							

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

美浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (2/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、() に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対象 系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等の設置		隔壁等 ハ(ロ)		火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							固定火災源	防護対象系列 の電線管	本設工認による処置内容 ^{※2}	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3}		
											固定火災源 ^{※1}		
火災区画		電動補助給水ポンプエリア	ロ	AB	A								
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	ロ	A	-								
火災区画		計器用空気圧縮機及び1次系冷却水クー ラエリア	ロ	AB	A								
火災区画		Cメタクラ及びCパワーセンタ室(Aト レイン)	ロ	B	B								
火災区画		補助建屋よう素除去排気フィルタユニ ット室	イ	A	-								
火災区画		Aバッテリー室	ロ	B	-								
火災区画		Bバッテリー室	ロ	A	A								
火災区画		1次系冷却水ポンプエリア	ロ	AB	B								
火災区画		換気空調設備エリア	ハ	A	A	電気盤(格納容器電気防食盤) 電気盤(CD主蒸気管区画空調機電源変圧器) フィルタユニット(中間建屋送気冷暖房ユニット、A制御建 屋冷暖房ユニット、B制御建屋冷暖房ユニット) ケーブルトレイ(B系) ケーブルトレイ(N系)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [Ei h]	-	エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用) エアロゾル消火設備(新設) スプリンクラー(新設) スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		換気空調フィルタユニットエリア	ハ	A	A	フィルタユニット(出入管理室フィルタユニット) ケーブルトレイ(B系)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [Ei h]	-	スプリンクラー(新設) スプリンクラー(既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		燃料取替用水タンク及び復水タンクエリ ア	イ	A	-								
火災区域		海水ポンプエリア	イ	AB	-								
火災区画		海水管トレンチ	ロ	A	-								

基本設計方針
 イ. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ. 火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 1-2

美浜 3 号機

系統分離対策範囲図

1. 目的










本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

美浜 3 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023 年 4 月 28 日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

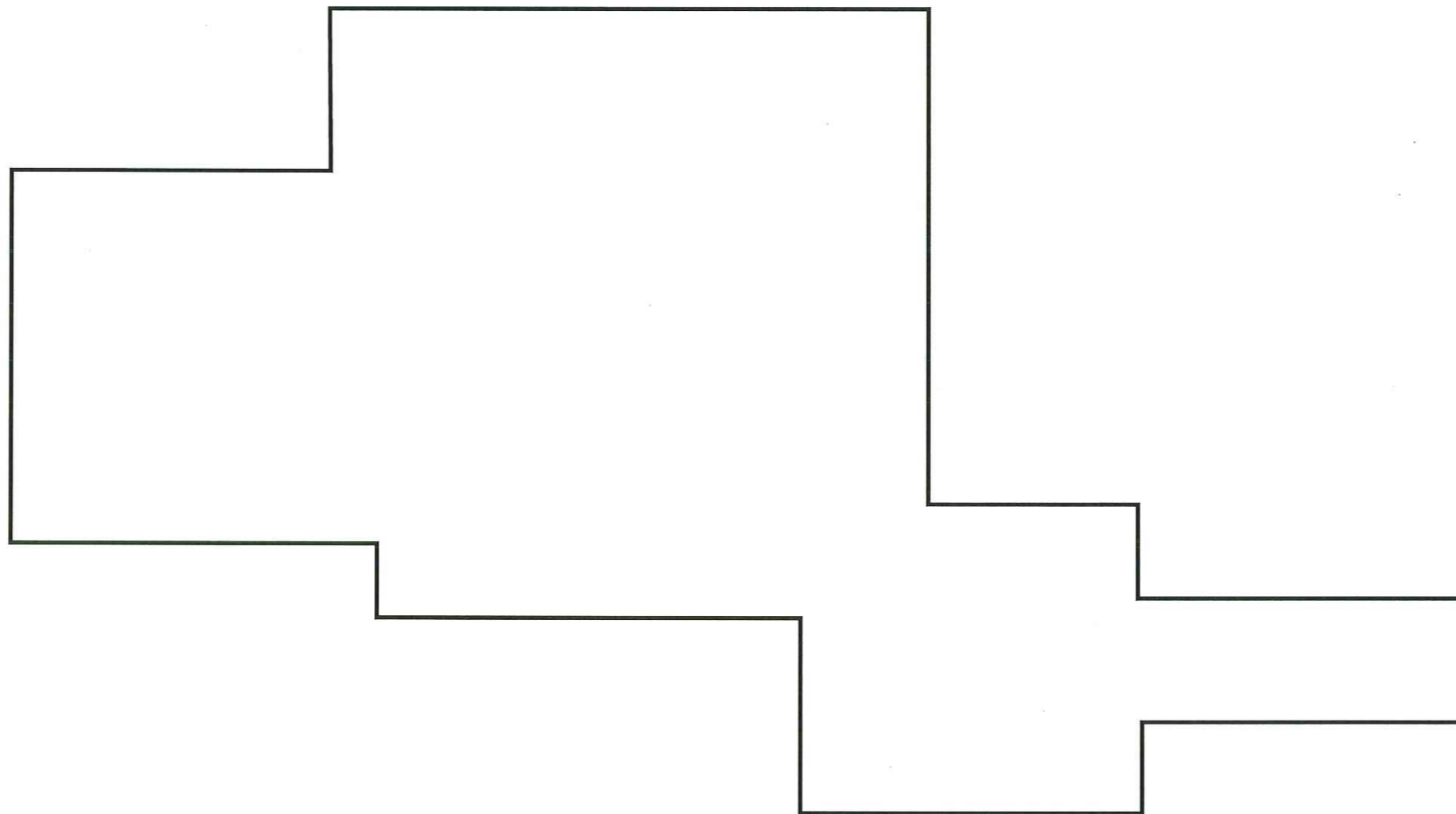
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

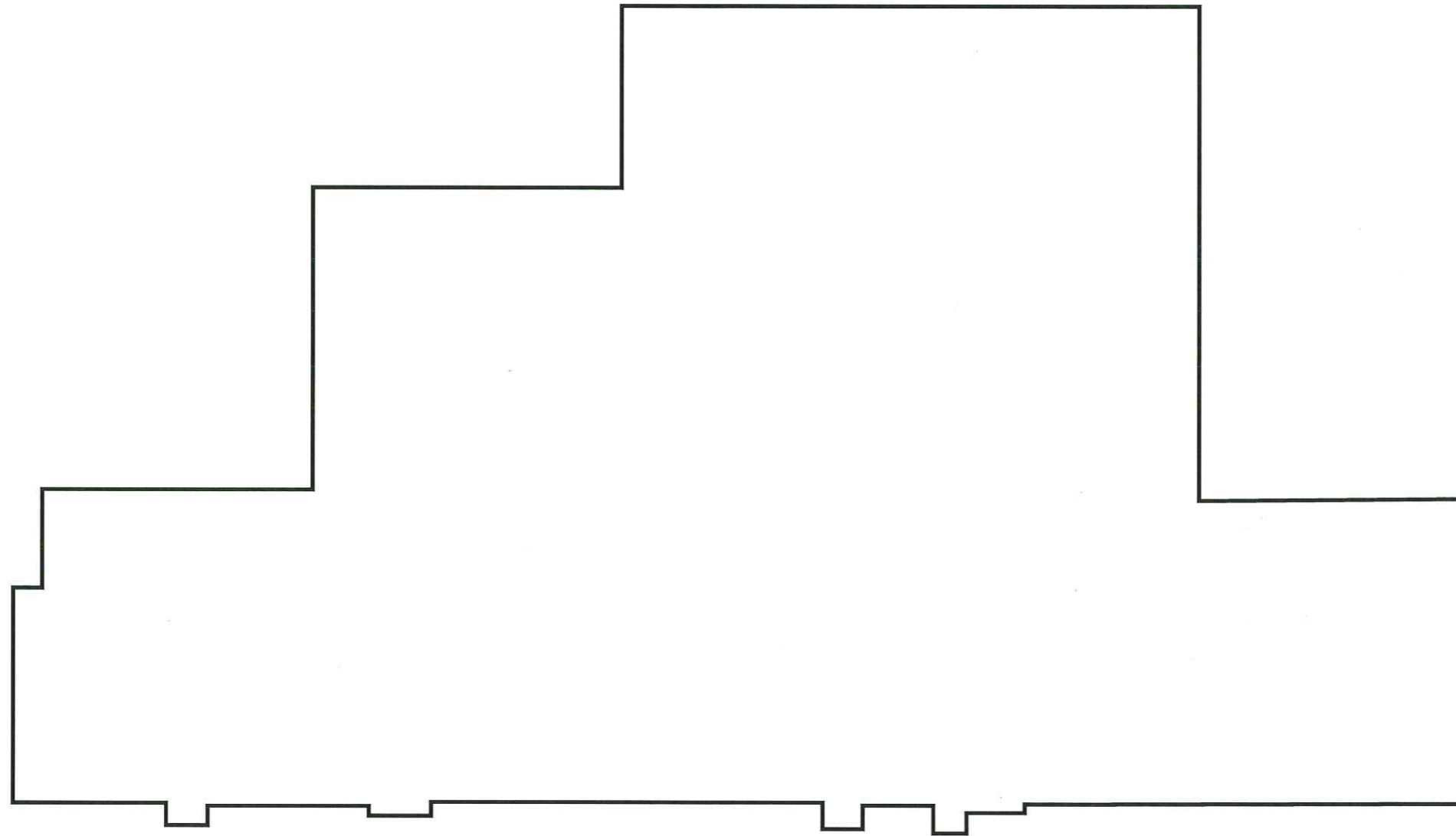
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

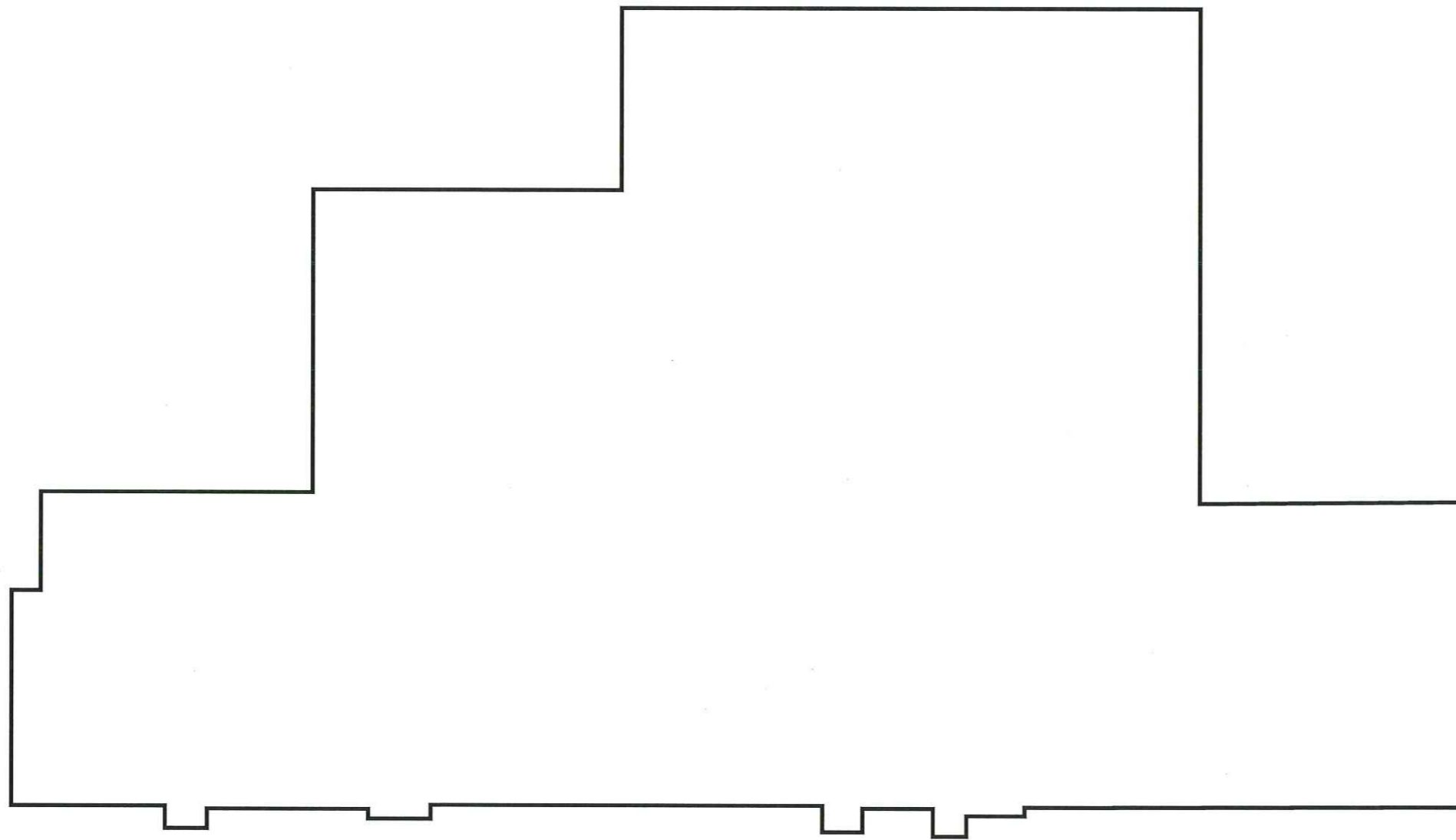
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

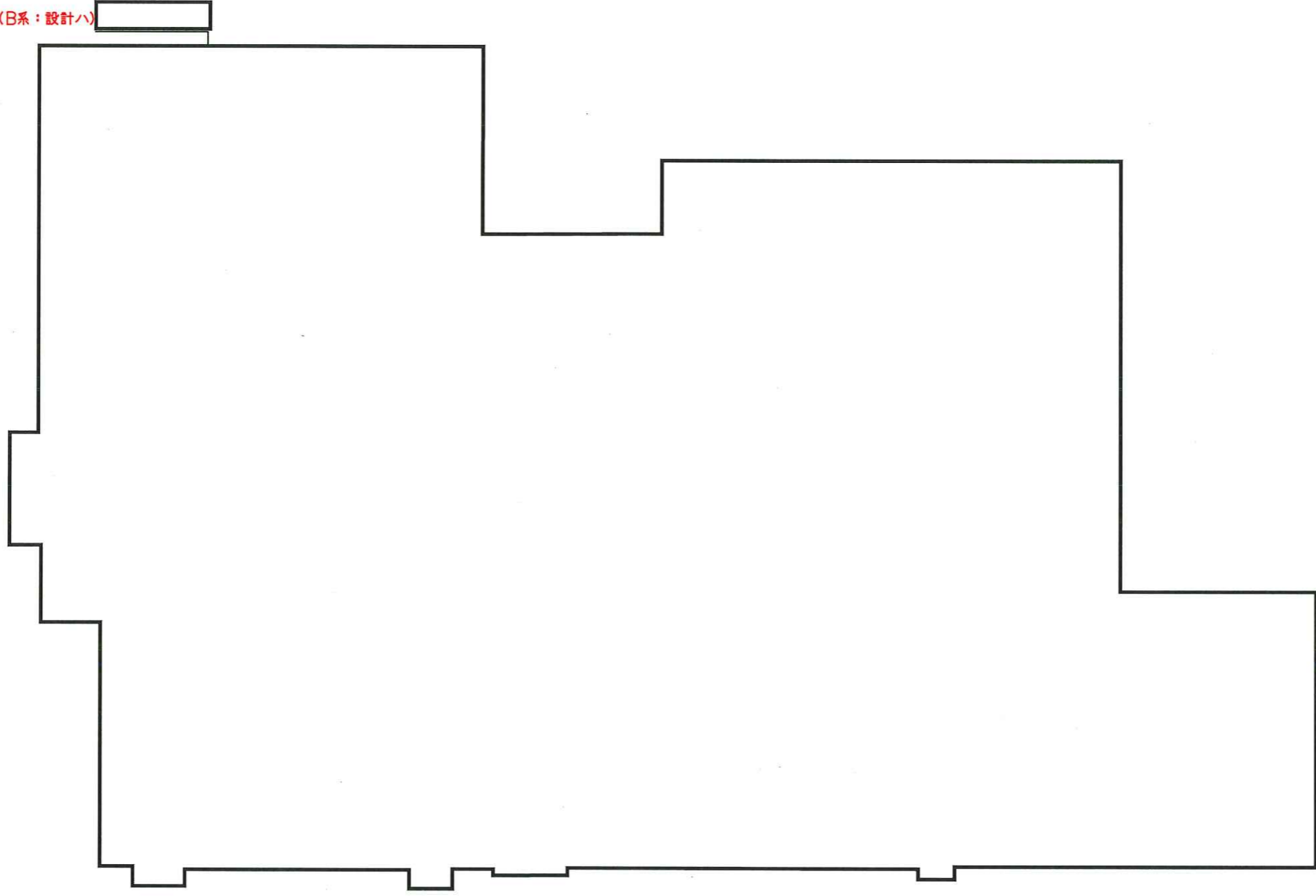
(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

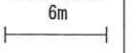
(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)

(B系：設計ハ)



〈参考寸法〉



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

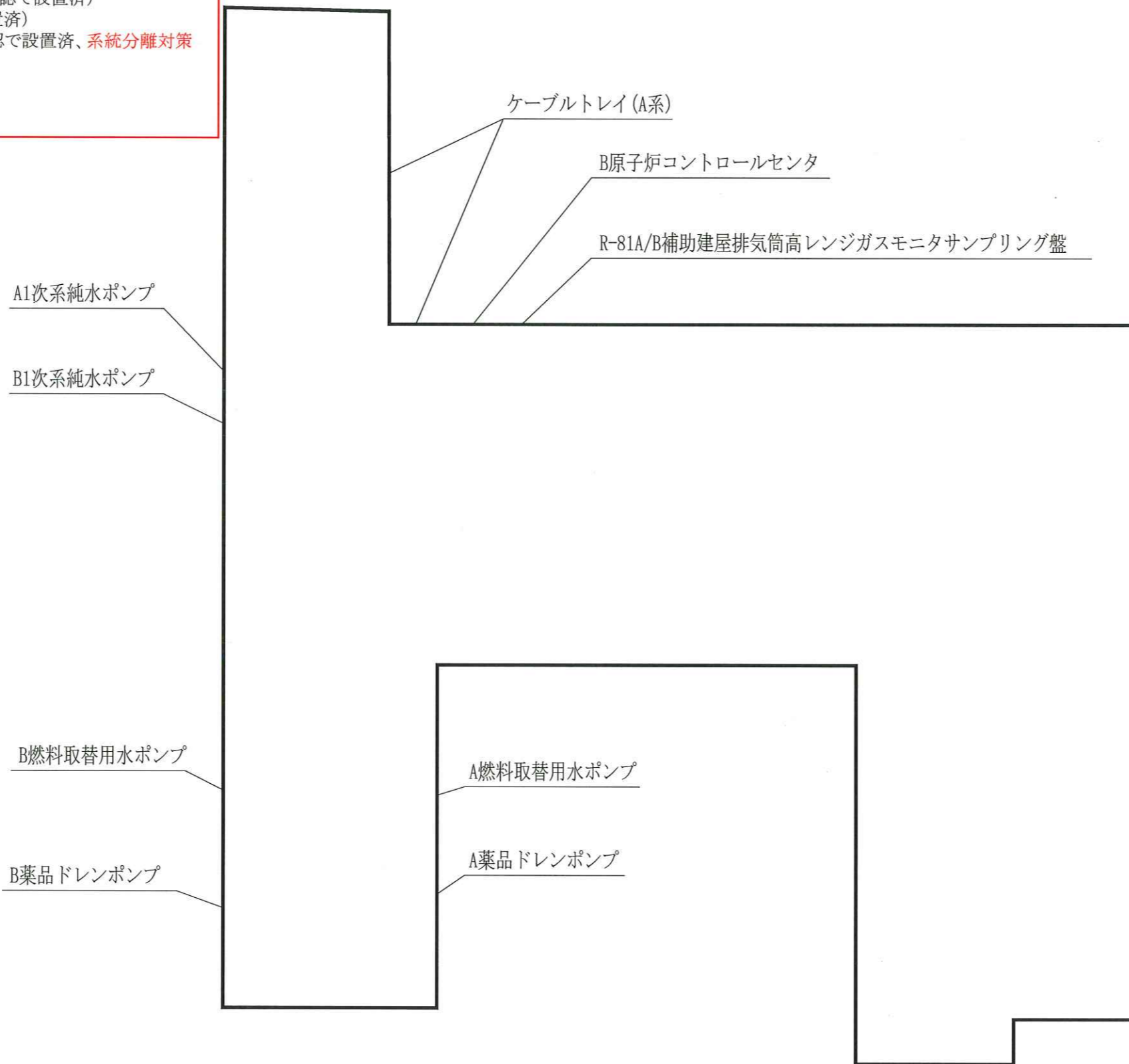
【隔壁等】
電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済)
局所ハロン消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

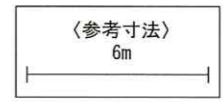
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

美浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

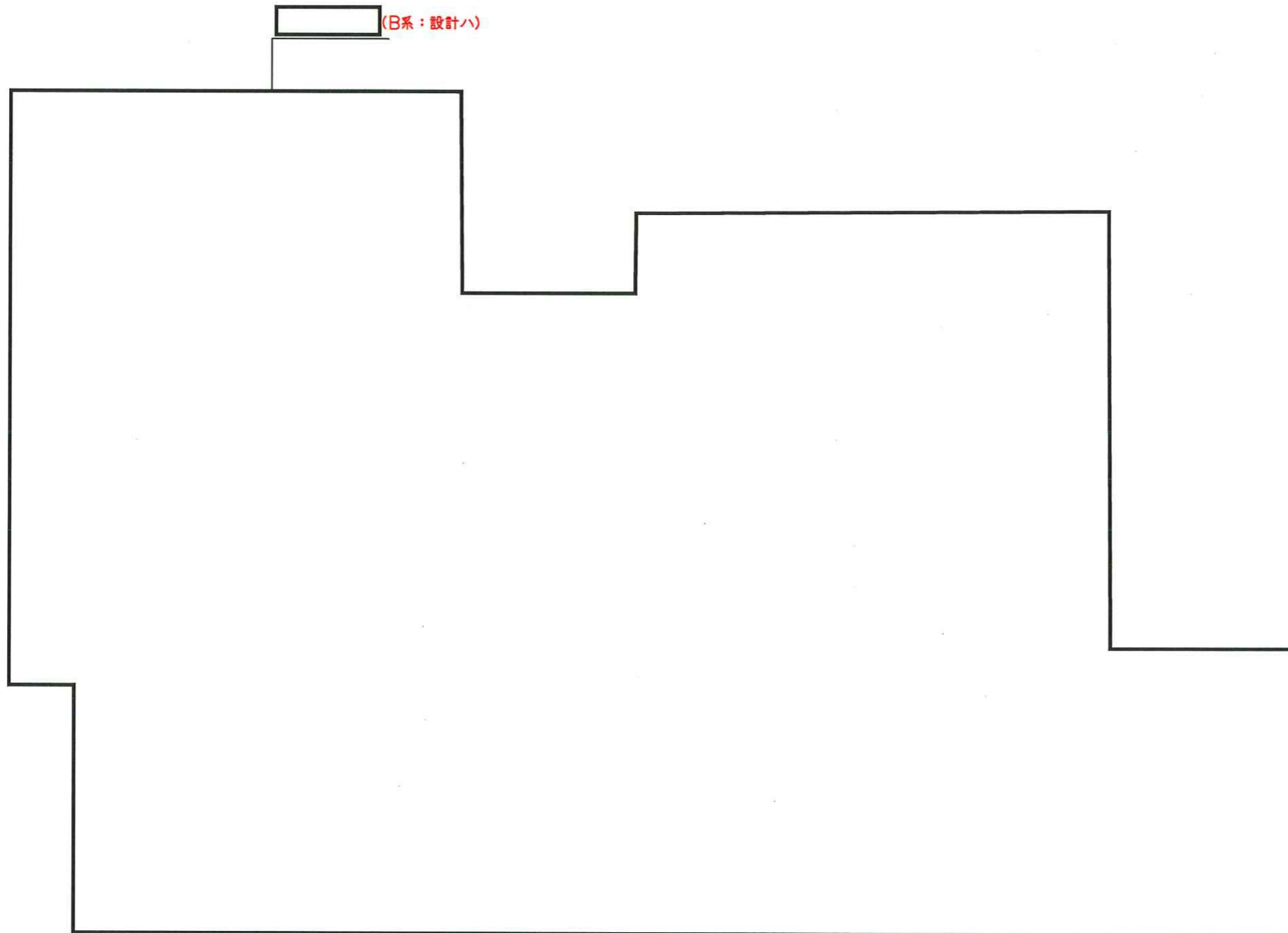
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)

(A系：設計ハ)

(A系：設計ハ)

(A系：設計ハ)

〈参考寸法〉

6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応










○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

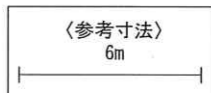
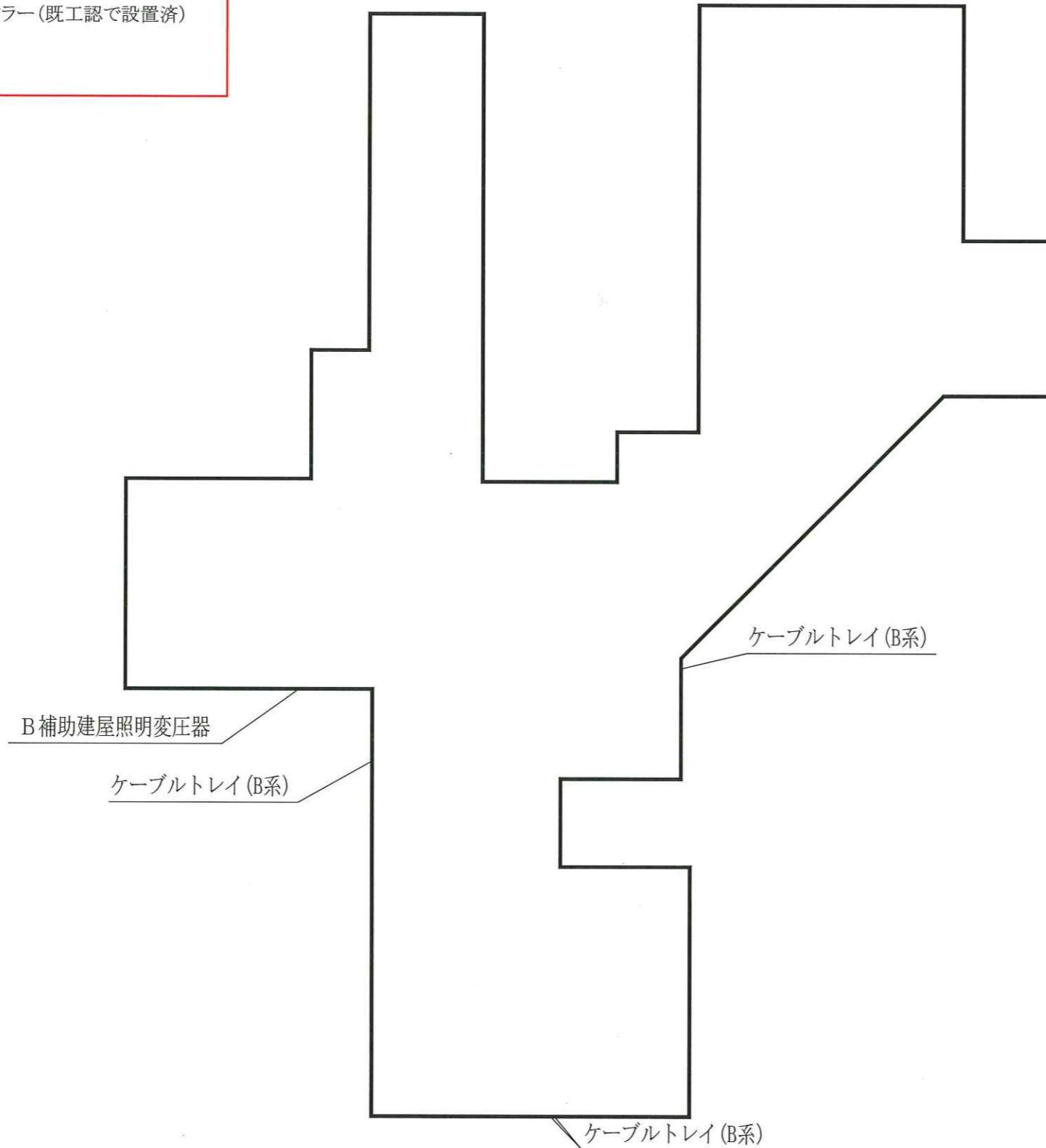
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図 (拡大図)

美浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

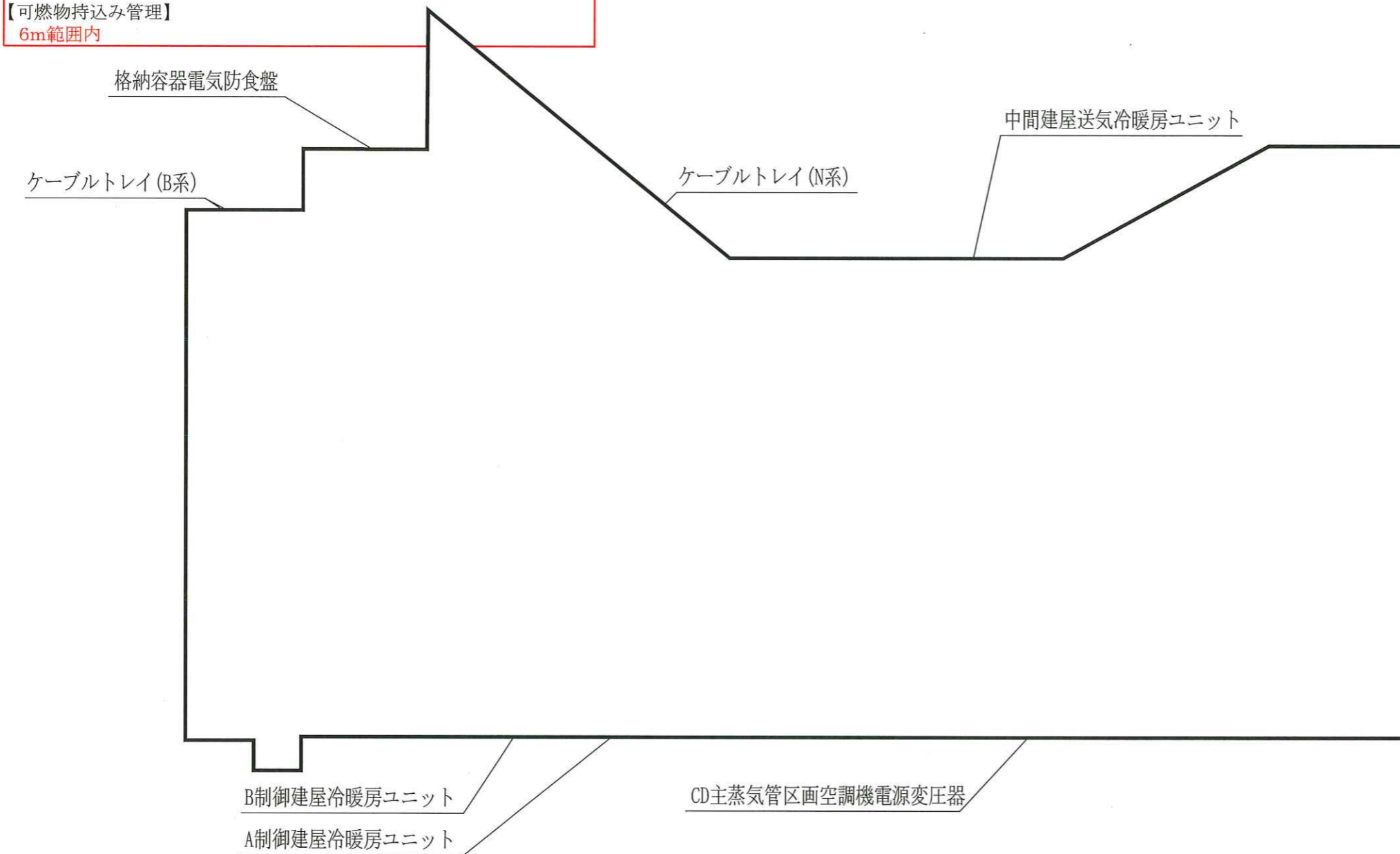
本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
エアロゾル消火設備(新設)
- フィルタユニット:スプリンクラー(新設)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】
6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)
美浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- フィルタユニット:スプリンクラー(新設)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

出入管理室フィルタユニット

ケーブルトレイ(B系)










〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

美浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

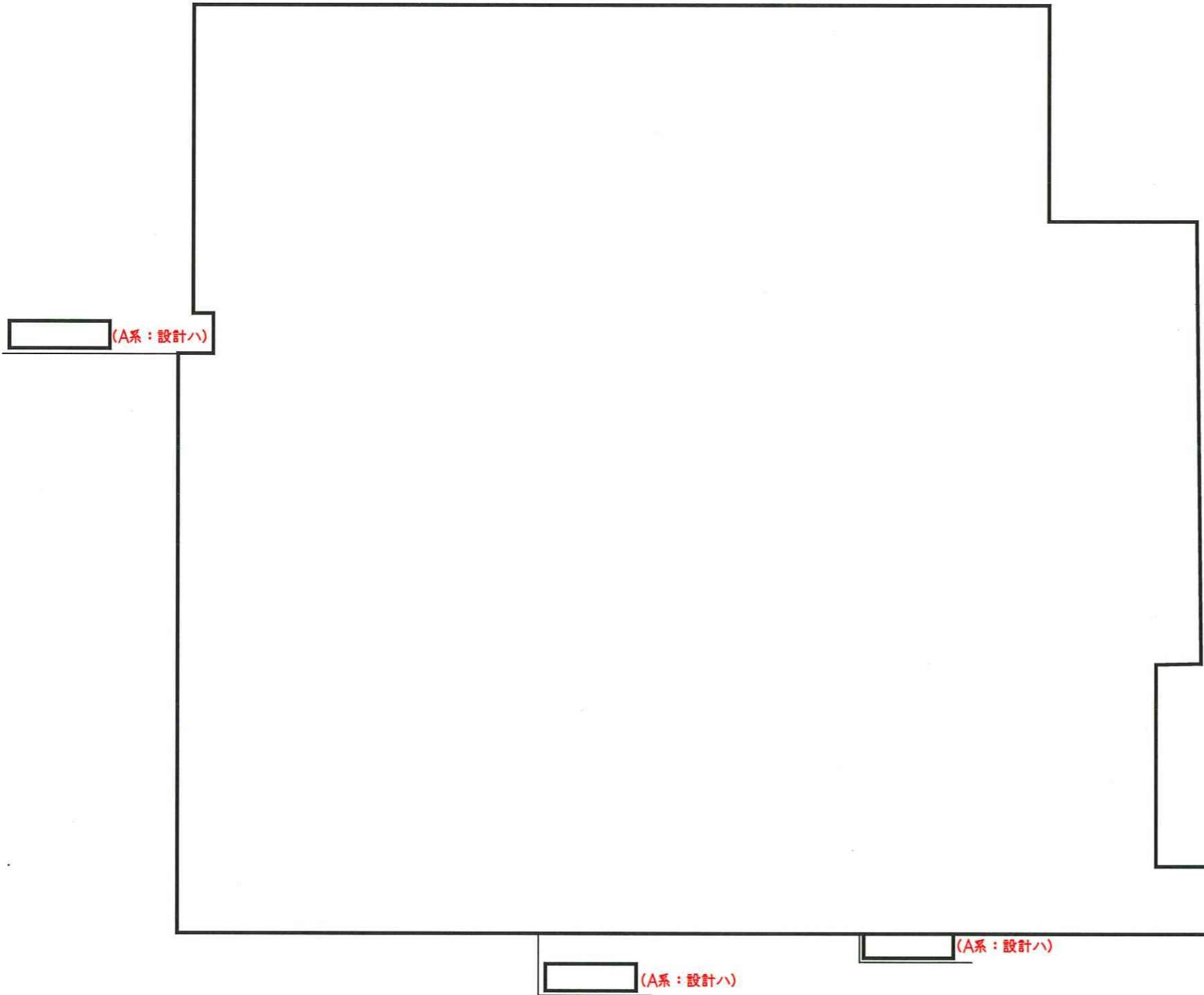
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)












〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

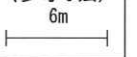
(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

 (A系：設計ハ)

 (A系：設計ハ)

〈参考寸法〉












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

 (A系：設計ハ)

〈参考寸法〉
6m











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)


美浜発電所 3号機





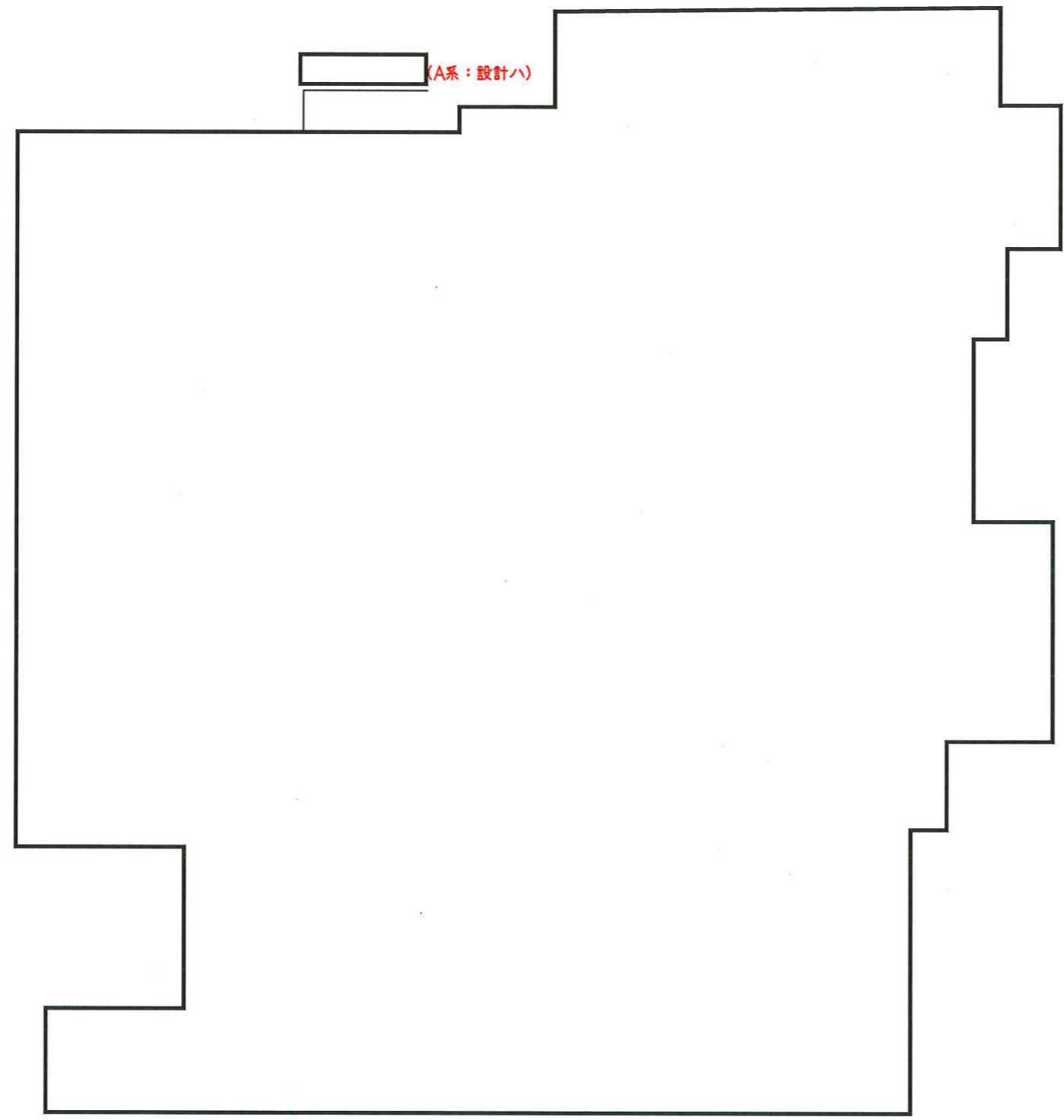
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

- (隔壁等)
-  隔壁等の設置箇所

- (火災感知・自動消火設備)
-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)

エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)

○フィルタユニット:スプリンクラー(新設)










○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

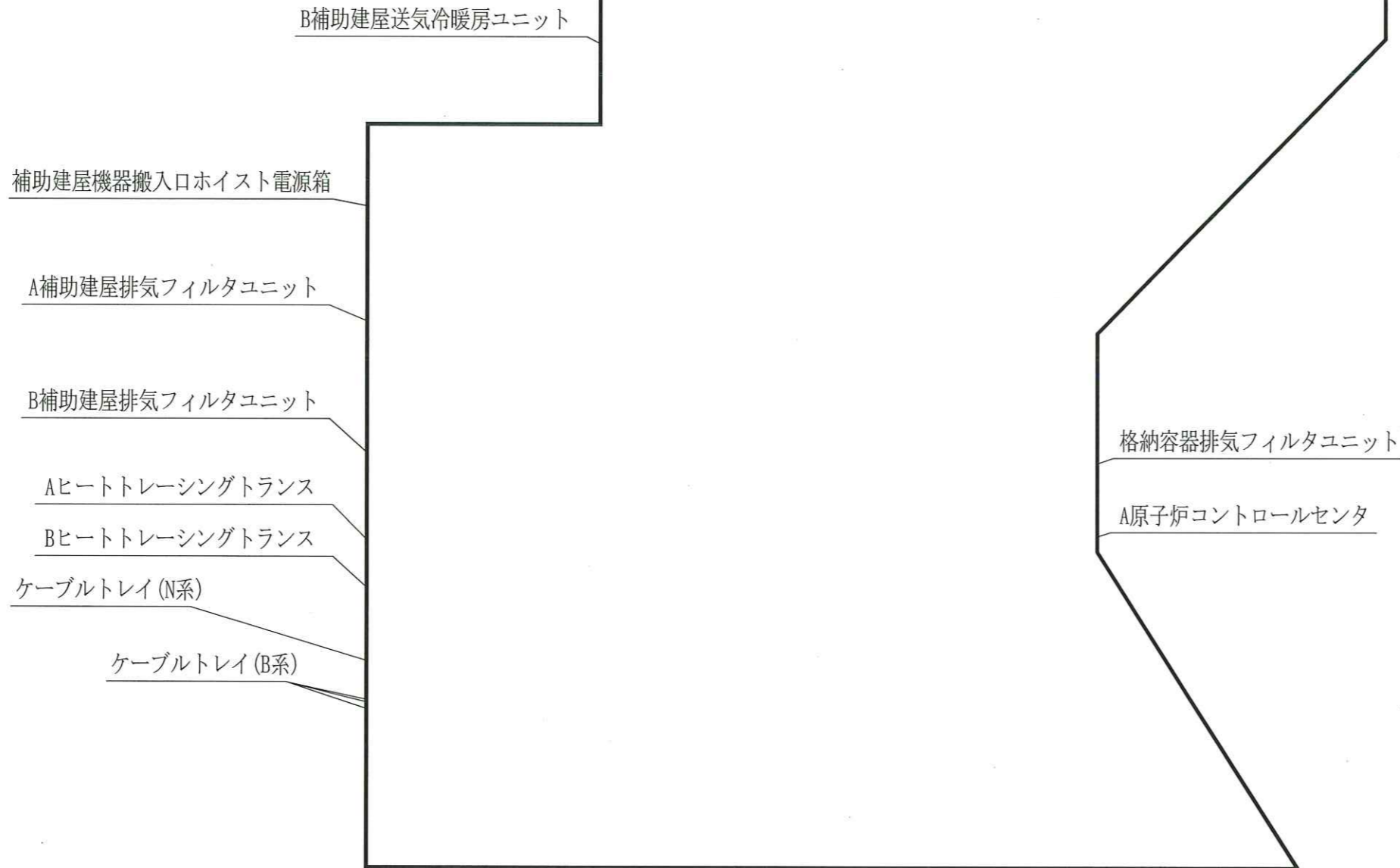
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

美浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

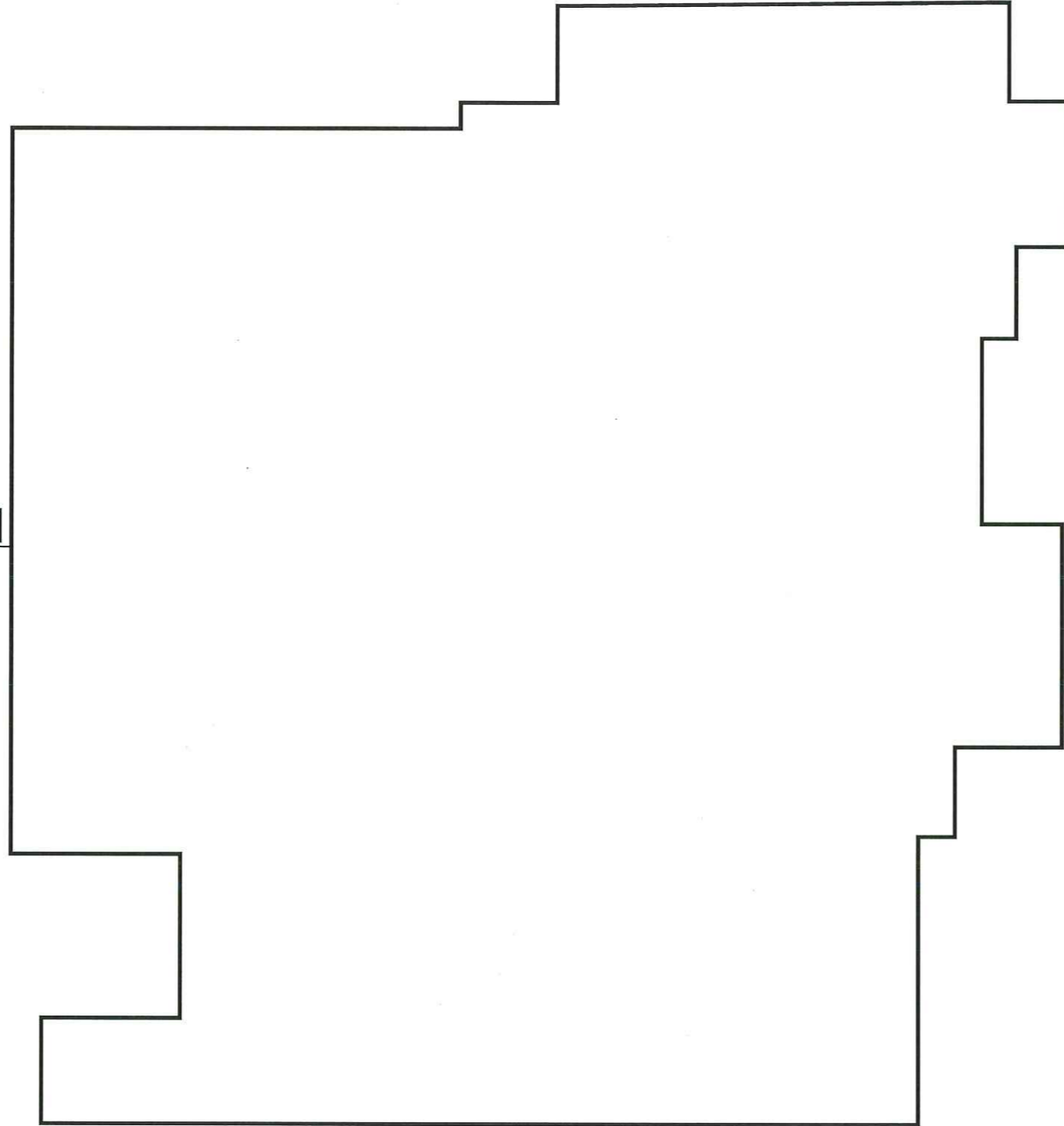
(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

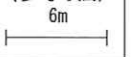
(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)

(A系：設計ハ)



〈参考寸法〉












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

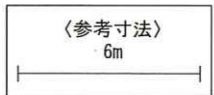
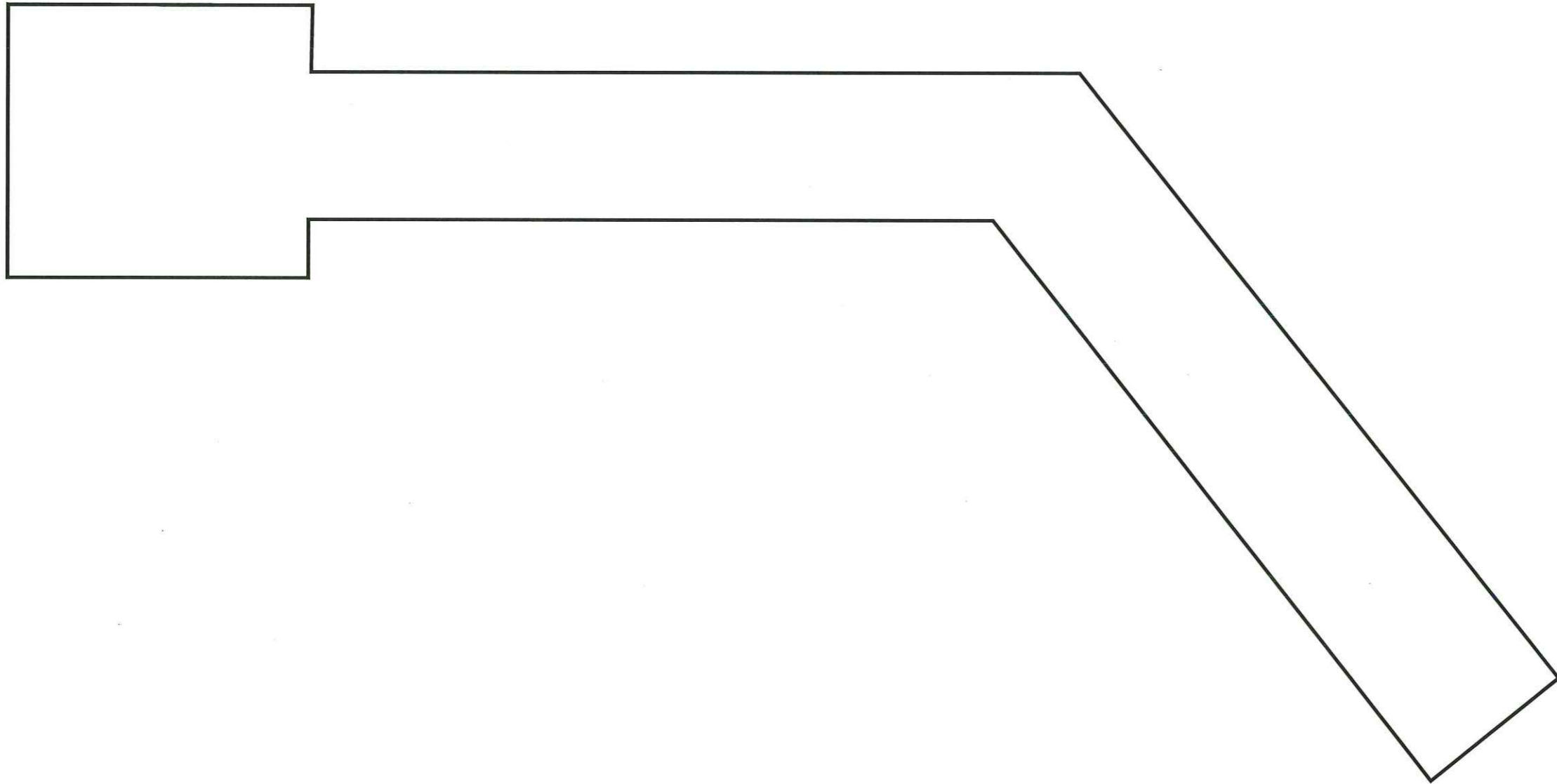
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)


(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)










-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
美浜発電所 3号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

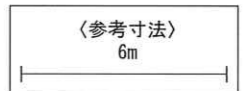
-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

美浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 2

高浜 1, 2 号機

火災防護対象ケーブルを収納する電線管の系統分離対策

別添 2-1

高浜 1, 2 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

高浜1，2号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023年4月28日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。

高浜発電所1号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ) 可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3		
							固定火災源	防護対象系列 の電線管			固定火災源※1		
火災区画		RHR及びスプレ配管室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1□h]	-	スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		ケーブルチェイス室	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		原子炉補助建屋 E.L.□h通路	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (一部: ケーブル トレイ (B系) 6m範囲) [E1□h]	-	スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		原子炉補助建屋 E.L.□h通路1	ハ	A	A	電気盤 (A2ヒートトレーシング変圧器、B2ヒートトレーシ ング変圧器) 電気盤 (B1原子炉コントロールセンタ) ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1□h、E1□hの中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		原子炉補助建屋 E.L.□h通路2	ハ	A	A	電気盤 (補助建屋排気筒ガスモニタサンプリング盤、格納容 器排気筒ガスモニタサンプリング盤、NC電源-2 (B) 用変圧 器、NC電源-2 (B) 主分電盤) ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1□h]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		原子炉補助建屋 E.L.□h通路	ロ	B	B		/	/	/	/	/	/	
火災区画		ほう酸タンク室	ロ	AB	AB		/	/	/	/	/	/	
火災区画		Bスイッチギヤ室	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		中央制御室外原子炉停止盤室(1・2号機共用)	ロ	B	-		/	/	/	/	/	/	
火災区画		2次系リレー室(1・2号機共用)	ロ	AB	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		1次系リレー室	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		ケーブル処理室(1・2号機共用)	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		1次系冷却水クーラ室	ハ	AB	AB	電気盤 (A計器用空気乾燥器電源箱、B計器用空気乾燥器電源 箱、脱気水注入装置電源トランス盤、屋外SA設備火災感知設 備変圧器盤、1可搬式空気圧縮機分電盤 (主蒸気逃がし弁作 動用)) 電気盤 (A計器用空気圧縮機盤、B計器用空気圧縮機盤) 油内包機器 (A計器用空気圧縮機、B計器用空気圧縮機、A電 動補助給水ポンプ、B電動補助給水ポンプ、S/G水張りポン プ)	○	○	電気盤に隔壁等を設置 電線管等 (A系) ラッピング (一部: 電気盤6m 範囲) [E1□h] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 電気盤6m 範囲) [E1□h] 電線管等 (A系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲) [E1□h] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲) [E1□h]	1-②	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン

- (1時間)
- 1-①:
- 1-②:
- (3時間)
- 3-①:
- 3-②:
- 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所1号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (2/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)	運用等ハ(ハ)	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容 ^{※2}	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3} 固定火災源 ^{※1}	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	ハ	A	-	油内包機器 (タービン動補助給水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EI]	-	局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1
火災区画		Aスイッチギヤ室	ロ	B	B							
火災区画		1次系冷却水ポンプ室	ハ	AB	AB	電気盤 (Aチラーユニット制御盤、Bチラーユニット制御盤) 油内包機器 (A-S/Gブロー水回収ポンプ、B-S/Gブロー水回収 ポンプ、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ、蒸気発生器補給 用仮設自吸式ポンプ) 油内包機器 (A-1次系冷却水ポンプ、B-1次系冷却水ポン プ、C-1次系冷却水ポンプ、D-1次系冷却水ポンプ、Aチ ラーユニット、Bチラーユニット、A冷水ポンプ、B冷水ポン プ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EI] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EI]	-	エアロゾル消火装置 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) 局所ハロン消火装置 (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		Aバッテリー室	ロ	B	-							
火災区画		Bバッテリー室	ロ	A	A							
火災区画		換気空調設備室	ハ	B	B	電気盤 (高感度型主蒸気管モニター検出器温度制御盤、格納容 器電気防食盤、変圧器 (定検時出入管理室分電盤用)) フィルタユニット (B中央制御室非常用循環フィルタユニット 、A制御建屋冷暖房ユニット、1次系冷却水ポンプ室冷暖 房ユニット) ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	○	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EI] フィルタユニットに隔壁等を設置 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EI] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EI]	3-③	スプリンクラー (既工認で設置済) - スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		アニュラス循環フィルタユニット室	ハ	B	-	フィルタユニット (出入管理室フィルタユニット)	○	-	フィルタユニットに隔壁等を設置	3-③	-	パターン2
火災区域		海水ポンプ室	ハ	AB	-	油内包機器 (A海水ポンプ、B海水ポンプ、C海水ポンプ、D海 水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない 範囲) 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない 範囲)	-	二酸化炭素消火装置 (既工認で設置済)	パターン1
火災区域		海水ポンプ室ケーブルトレンチ	ハ	B	-	ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部)	-	ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン1
火災区域		海水管トレンチ	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部)	-	ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所2号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3 固定火災源※1	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区画		RHR及びスプレ配管室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1]	-	スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		ケーブルチェイス室	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/
火災区画		原子炉補助建屋 E.L. 通路	ハ	B	B	-	-	-	処置不要 (防護対象系列の電線管6m以内に固 定火災源なし)	-	-	パターン2
火災区画		原子炉補助建屋 E.L. 通路1	ハ	A	A	電気盤 (B1原子炉コントロールセンタ) ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1]	-	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		原子炉補助建屋 E.L. 通路2	ハ	A	A	電気盤 (補助建屋排気筒ガスモニタサンプリング盤、格納容 器排気筒ガスモニタサンプリング盤、AM設備電源盤) ケーブルトレイ (B系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		原子炉補助建屋 E.L. 通路	ロ	B	B		/	/	/	/	/	/
火災区画		ほう酸タンク室	ロ	AB	-		/	/	/	/	/	/
火災区画		ケーブルチェイス	ロ	B	B		/	/	/	/	/	/
火災区画		1次系リレー室	ロ	A	A		/	/	/	/	/	/
火災区画		1次系冷却水クーラ室	ハ	AB	AB	電気盤 (A計器用空気乾燥器電源箱、B計器用空気乾燥器電源 箱、脱気水注入装置電源トランス盤、2可搬式空気圧縮機分 電盤 (主蒸気逃がし弁作動用)) 電気盤 (A計器用空気圧縮機盤、B計器用空気圧縮機盤) 油内包機器 (A計器用空気圧縮機、B計器用空気圧縮機、A電 動補助給水ポンプ、B電動補助給水ポンプ、S/G水張りポン プ)	○	○	電気盤に隔壁等を設置 電線管等 (A系) ラッピング (一部: 電気盤6m 範囲) [E1] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 電気盤6m 範囲) [E1] 電線管等 (A系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲) [E1] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲) [E1]	1-②	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所2号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (2/2)

(凡例)
 : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等の設置		本設工認による処置内容 ^{※2}	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							固定火災源	防護対象系列 の電線管			火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3}	固定火災源 ^{※1}	
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	ハ	B	—	油内包機器 (タービン動補助給水ポンプ)	—	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [El h]	—	局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		Aスイッチギヤ室	ロ	B	B								
火災区画		1次系冷却水ポンプ室	ハ	AB	AB	電気盤 (Aチラーユニット制御盤、Bチラーユニット制御盤) 電気盤 (中間建屋照明分電盤用変圧器、中央制御室非常用照 明・誘導灯) 油内包機器 (A-S/Gブロー水回収ポンプ、B-S/Gブロー水回収 ポンプ、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ、蒸気発生器補給 用仮設自吸式ポンプ) 油内包機器 (A-1次系冷却水ポンプ、B-1次系冷却水ポン プ、C-1次系冷却水ポンプ、D-1次系冷却水ポンプ、A冷水 ポンプ、B冷水ポンプ、Aチラーユニット、Bチラーユニッ ト)	—	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [El n] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [El n]	—	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) 局所ハロン消火装置 (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		補助建屋よう素除去排気フィルタユニット室	ロ	B	—								
火災区画		Bバッテリー室	ロ	A	A								
火災区画		換気空調設備室	ハ	B	B	電気盤 (高感度型主蒸気管モニタ検出器温度制御盤、格納容 器電気防食盤、A-CRDMスイッチギヤ室空調装置) 電気盤 (A-CRDMスイッチギヤ室空調装置制御盤、B-CRDMス イッチギヤ室空調装置制御盤、C-CRDMスイッチギヤ室空調装 置制御盤、スチームコンバータ室空調制御盤) ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	○	○	電線管等 (B系) ラッピング (一部: 電気盤6m 範囲) [El h] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: ケーブル トレイ (A系) 6m範囲) [El h] 電線管等 (B系) ラッピング (一部: ケーブル トレイ (N系) 6m範囲) [El h] ケーブルトレイ (N系) の一部に蓋を設置	1-②	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		アニュラス循環フィルタユニット室	ハ	B	—	—	—	—	処置不要 (防護対象系列の電線管6m以内に固 定火災源なし)	—	—	パターン2	
火災区画		海水ポンプ室	ハ	AB	—	油内包機器 (A海水ポンプ、B海水ポンプ、C海水ポンプ、D海 水ポンプ)	—	○	電線管等 (A系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない 範囲) 電線管等 (B系) ラッピング (一部: 油内包機 器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない 範囲)	—	二酸化炭素消火装置 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		海水ポンプ室ケーブルトレンチ	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	—	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部)	—	ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		海水ストレージ室及び海水管トンネル	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系)	○	—	ケーブルトレイ (B系) の全部に蓋を設置	1-②	ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2	

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 2-2

高浜 1, 2 号機

系統分離対策範囲図

1. 目的










本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

高浜 1， 2 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023 年 4 月 28 日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

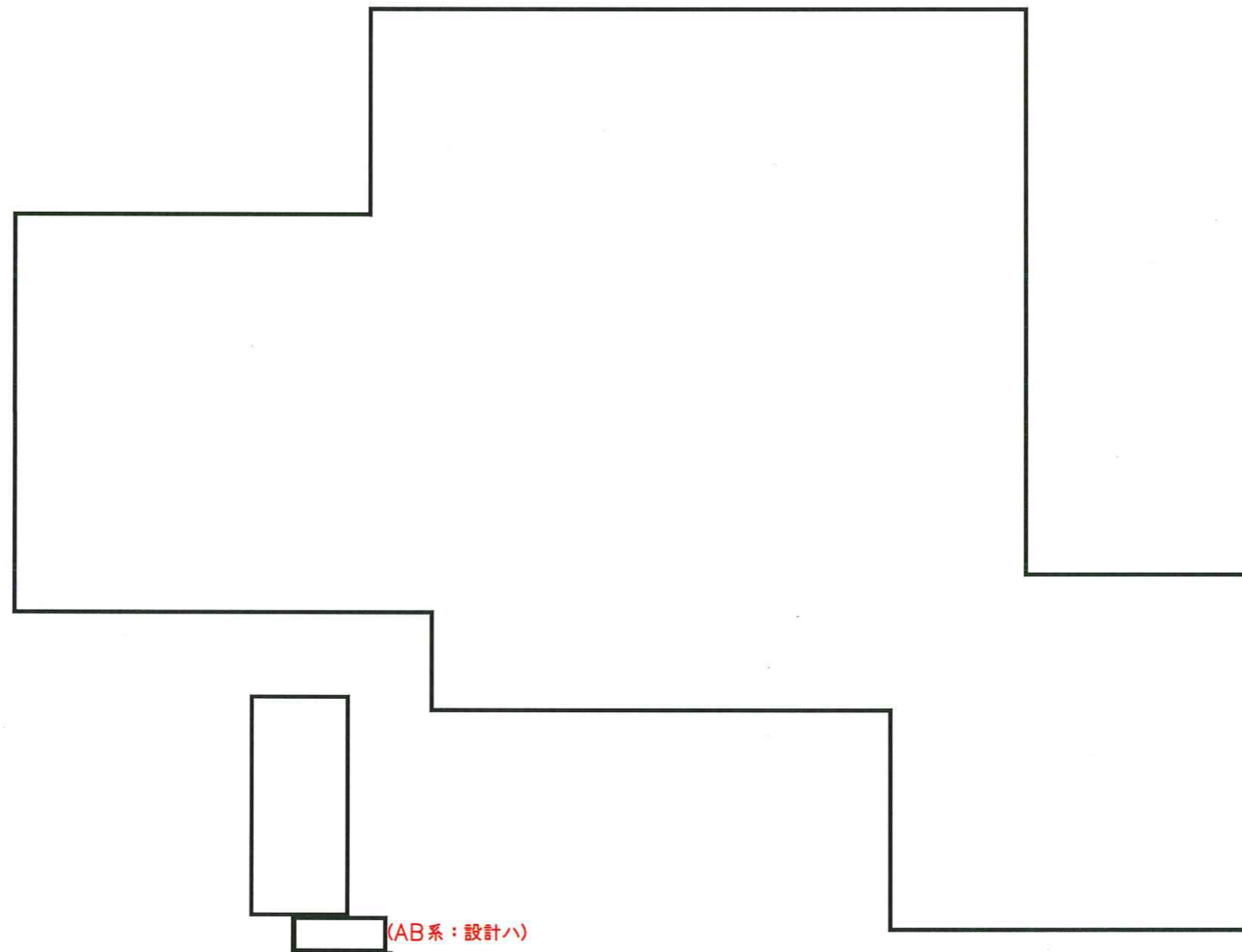
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)












〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

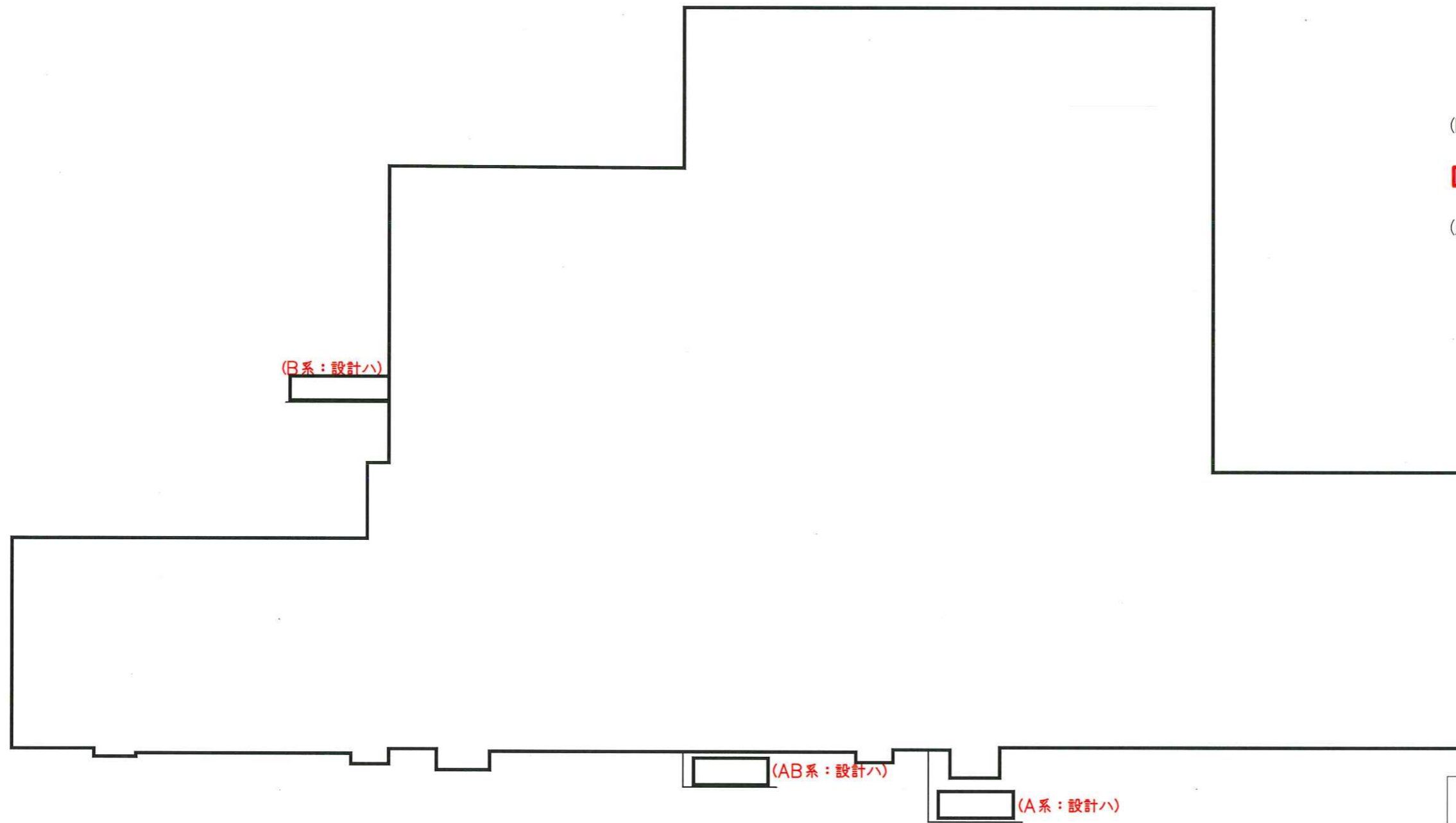
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

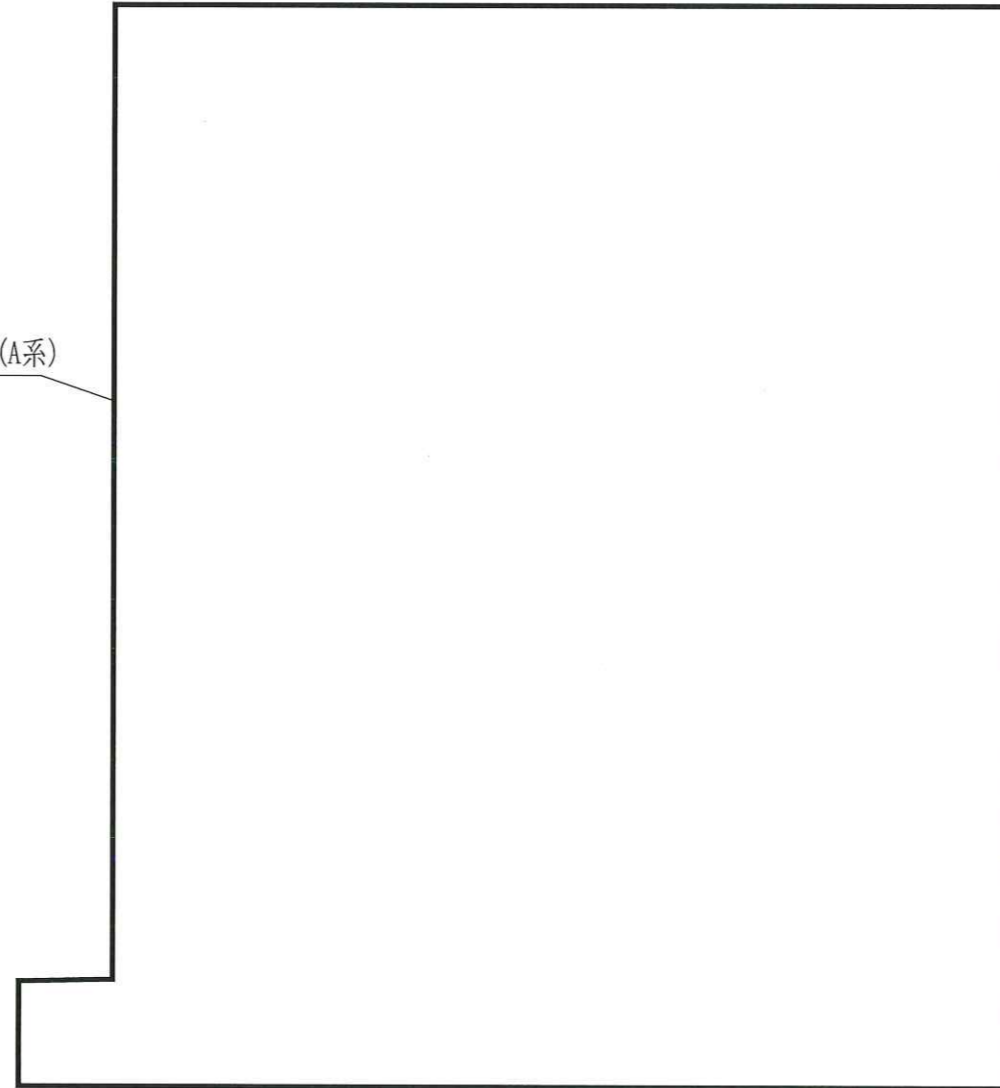
○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)










【可燃物持込み管理】

6m範囲内

ケーブルトレイ(A系)





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉

6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所1号機

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(一部)

電線管等(B系)ラッピング(一部)

○電気盤:隔壁等を設置

電線管等(A系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

○油内包機器:電線管等(A系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

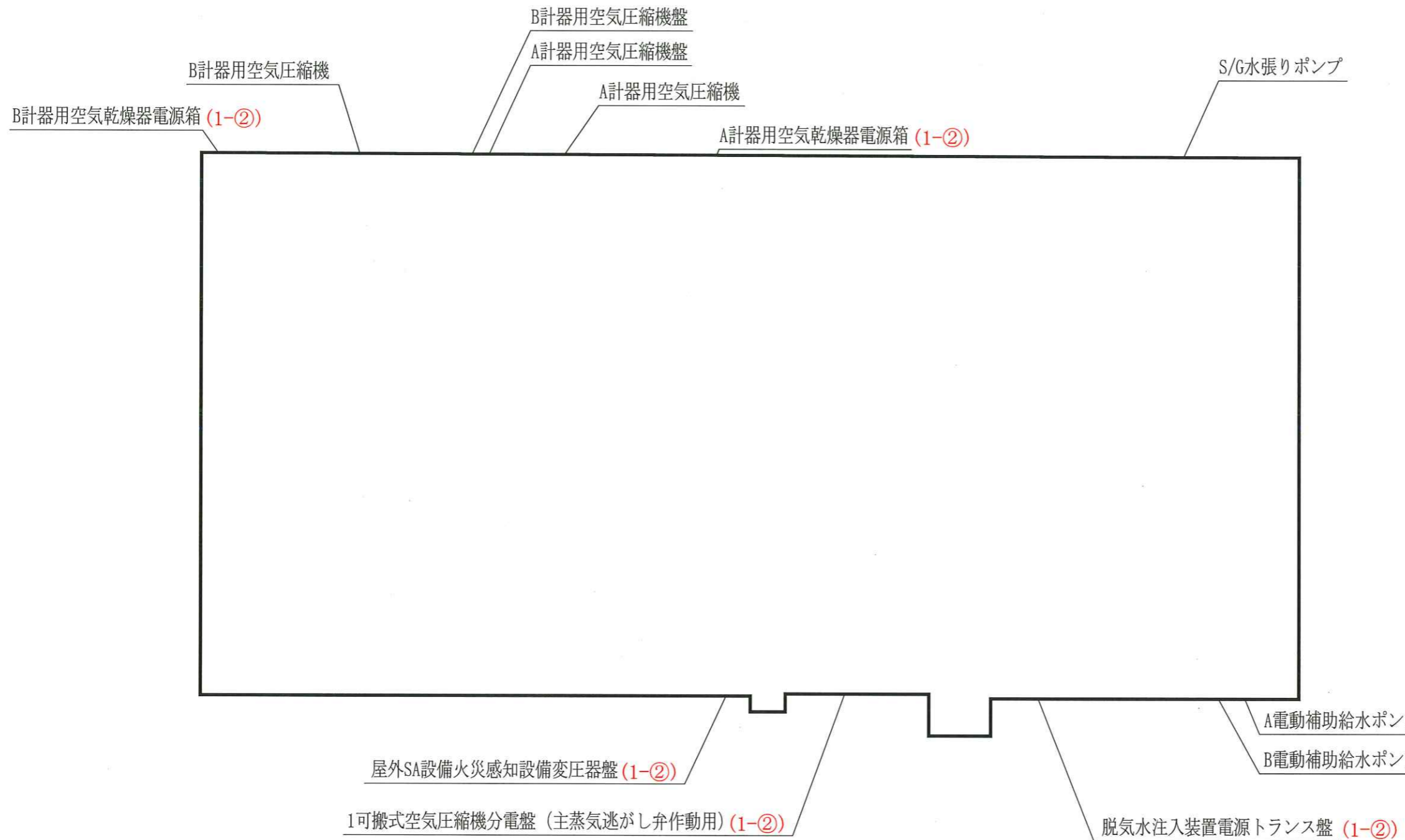
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】










○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

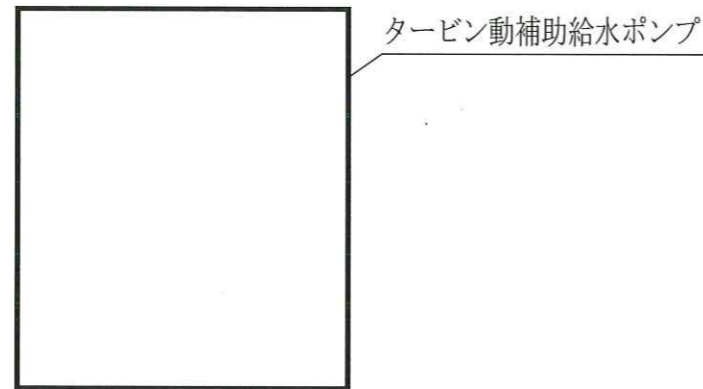
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機



(A系:設計ハ)

(AB系:設計ハ)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

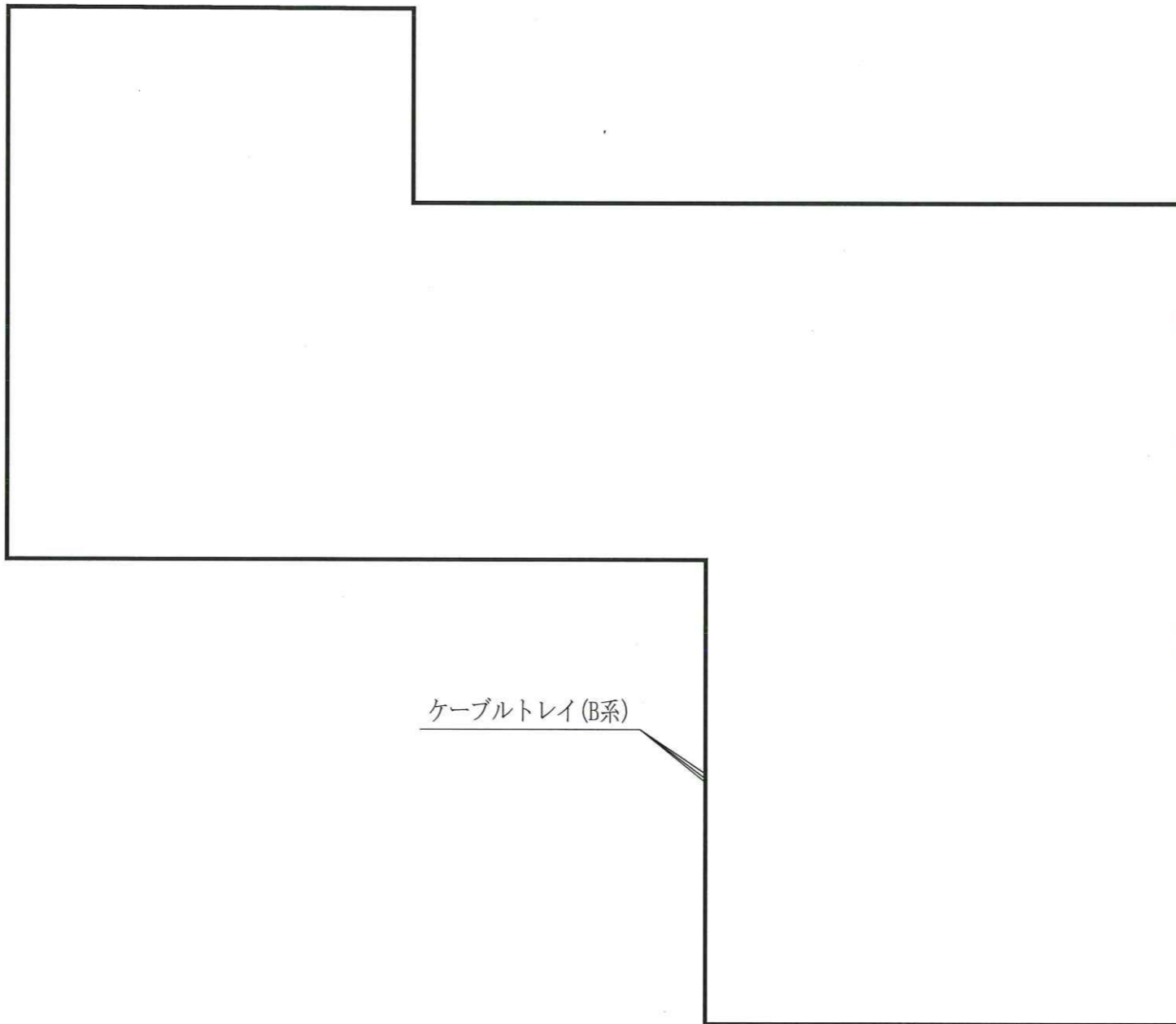
(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(A系)ラッピング(一部:ケーブルトレイ(B系)6m範囲)

【火災感知・自動消火設備】
○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】
6m範囲内



- 【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記
- 火災区画
 - 電線管等 (A系)
 - 電線管等 (B系)
 - 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
 - 電気盤 (440V以上)
 - フィルタユニット
 - 固定火災源となるケーブルトレイ
 - 油内包機器
 - 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

- (隔壁等)
- 隔壁等の設置箇所
- (火災感知・自動消火設備)
- エアロゾル消火設備
 - スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

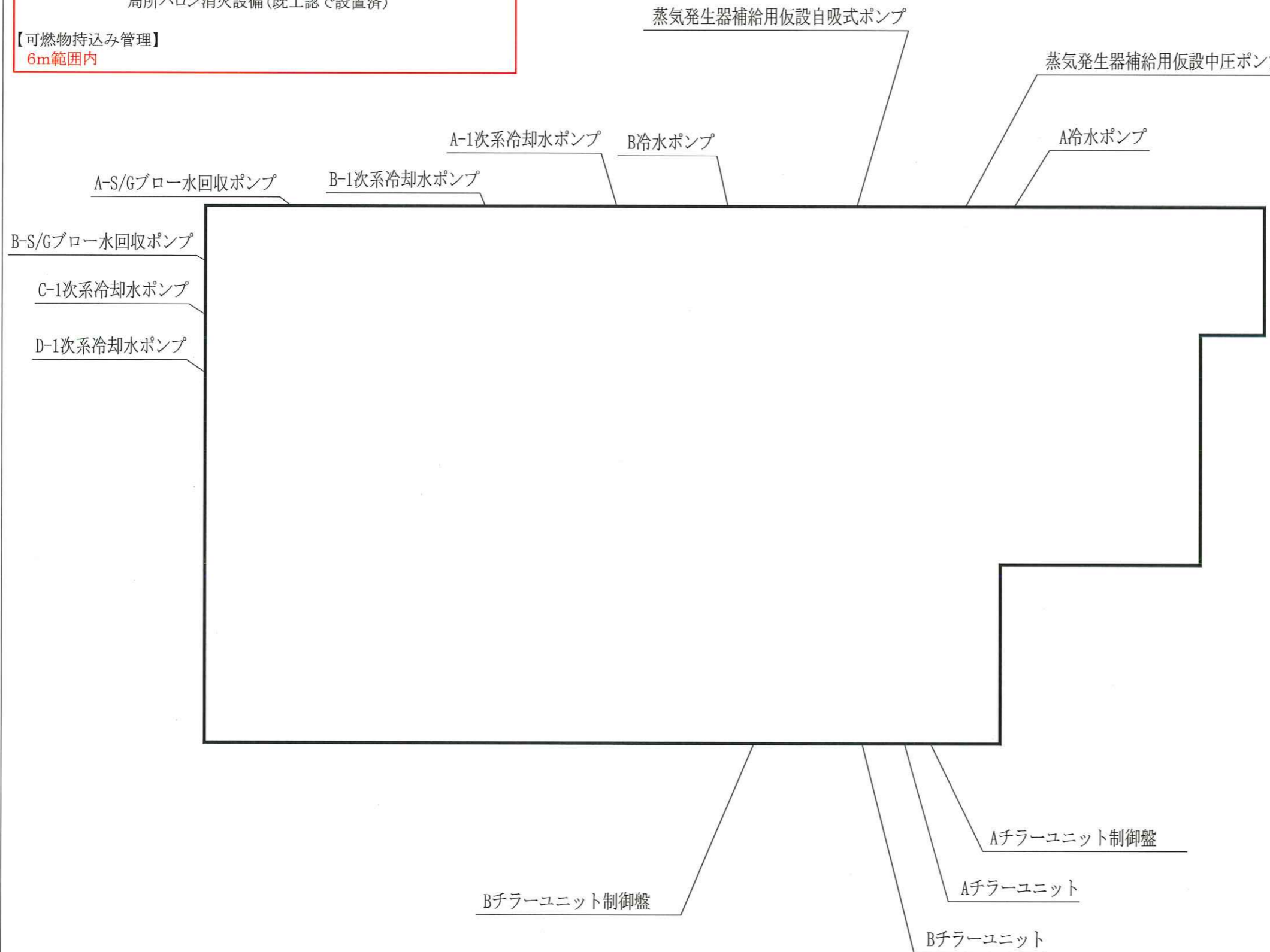
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)










- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図(拡大図)
高浜発電所1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

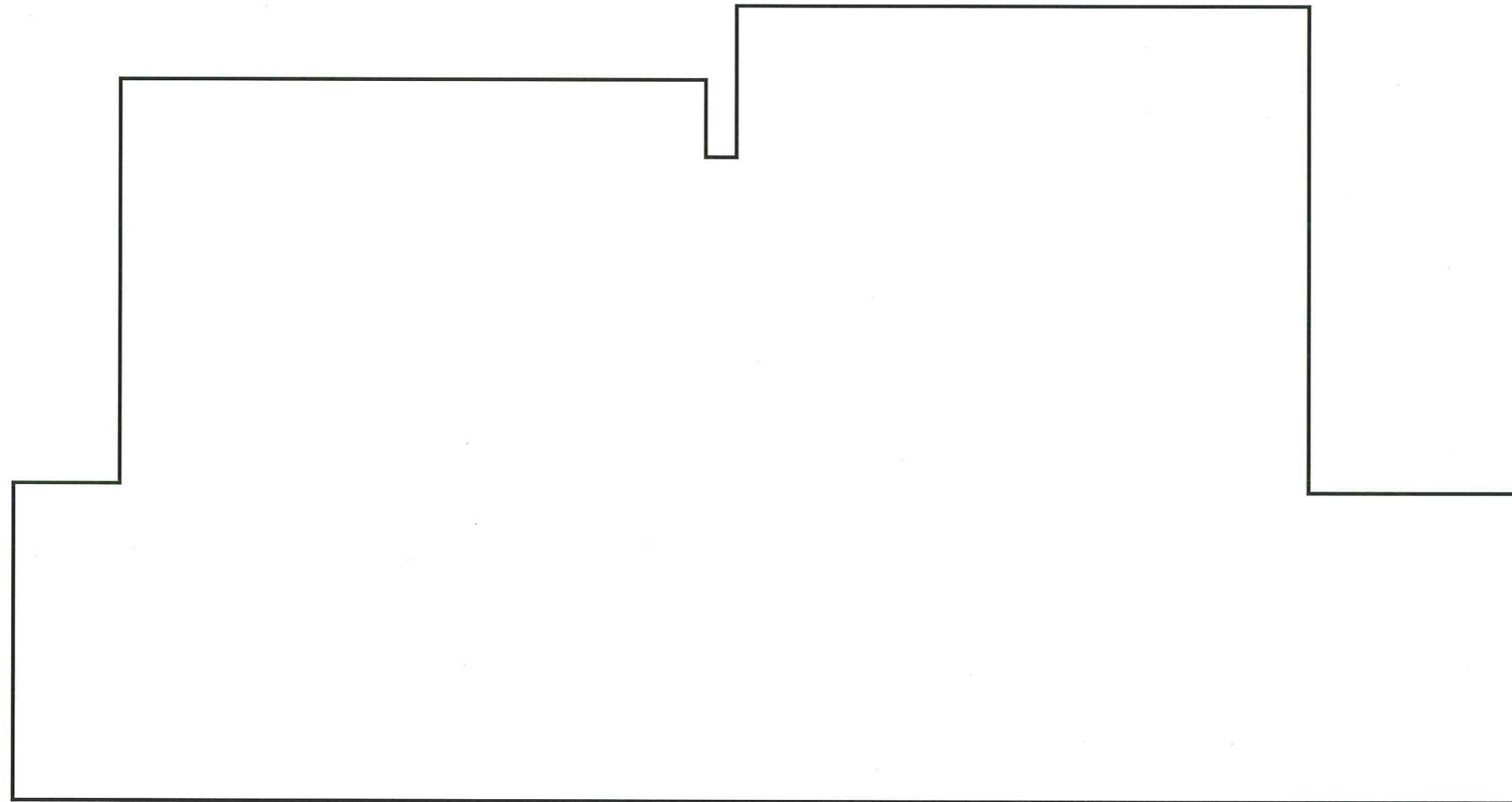
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

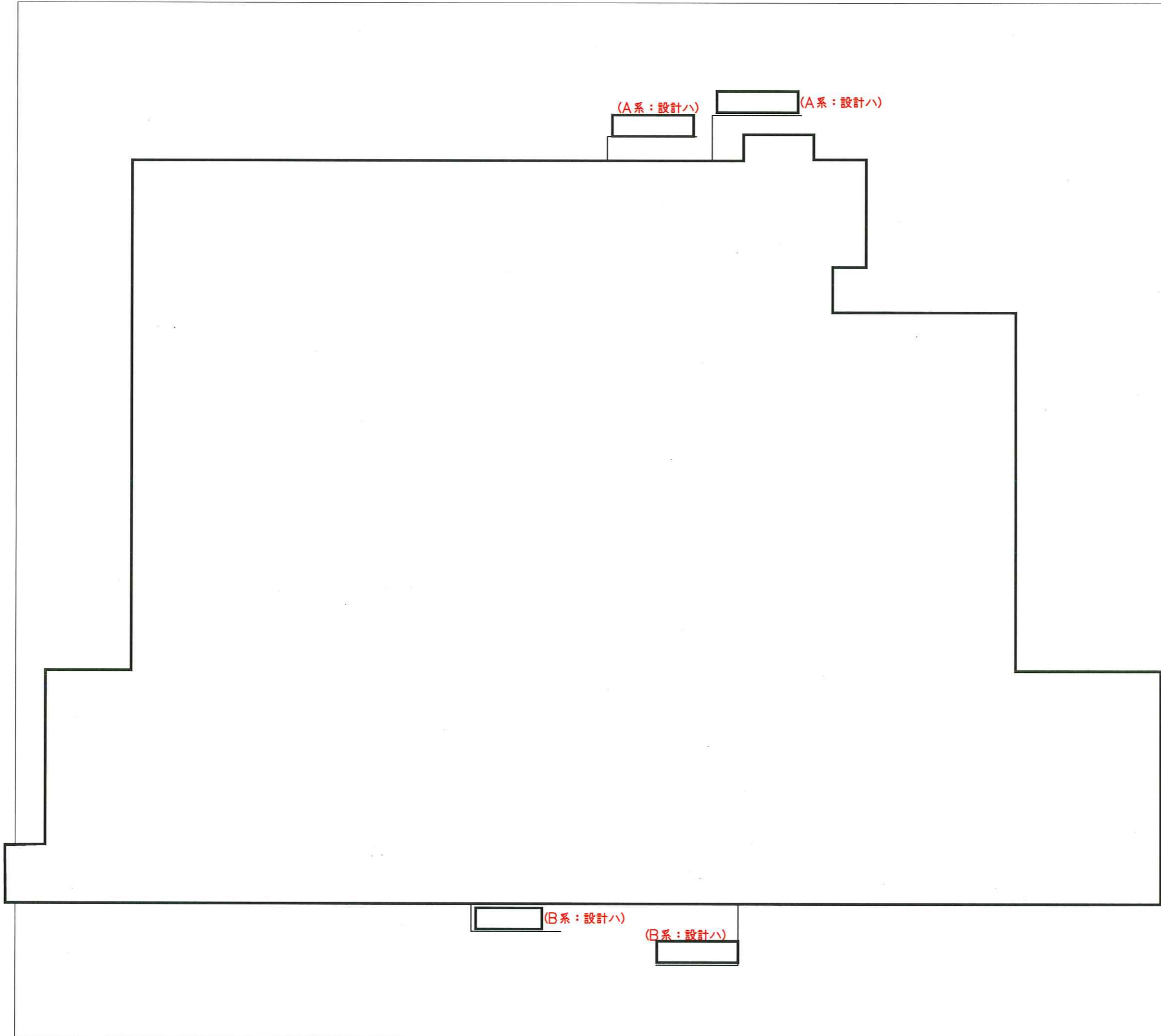


電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)










高浜発電所 1号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)


(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 1号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)

エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)










○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

B1原子炉コントロールセンタ

ケーブルトレイ (B系)

A2ヒートトレーシング変圧器

B2ヒートトレーシング変圧器

ケーブルトレイ (B系)

〈参考寸法〉

6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(A系)ラッピング(全部)






【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

ケーブルトレイ (B系)

NC電源-2(B)用変圧器

NC電源-2(B)主分電盤

補助建屋排気筒ガスモニタサンプリング盤

格納容器排気筒ガスモニタサンプリング盤

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(B系)ラッピング(全部)
- 電気盤:電線管等(B系)ラッピング(全部)
- フィルタユニット:フィルタユニットに隔壁等を設置
- ケーブルトレイ(A系):電線管等(B系)ラッピング(全部)
- ケーブルトレイ(N系):電線管等(B系)ラッピング(全部)










【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- フィルタユニット:-
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

高感度型主蒸気管モニタ検出器温度制御盤

格納容器電気防食盤

変圧器 (定検時出入管理室分電盤用)

ケーブルトレイ (N系)

ケーブルトレイ (A系)

1次系冷却水ポンプ室冷暖房ユニット(3-③)

A制御建屋冷暖房ユニット(3-③)

B中央制御室非常用循環フィルタユニット(3-③)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

○フィルタユニット:フィルタユニットに隔壁等を設置

【火災感知・自動消火設備】

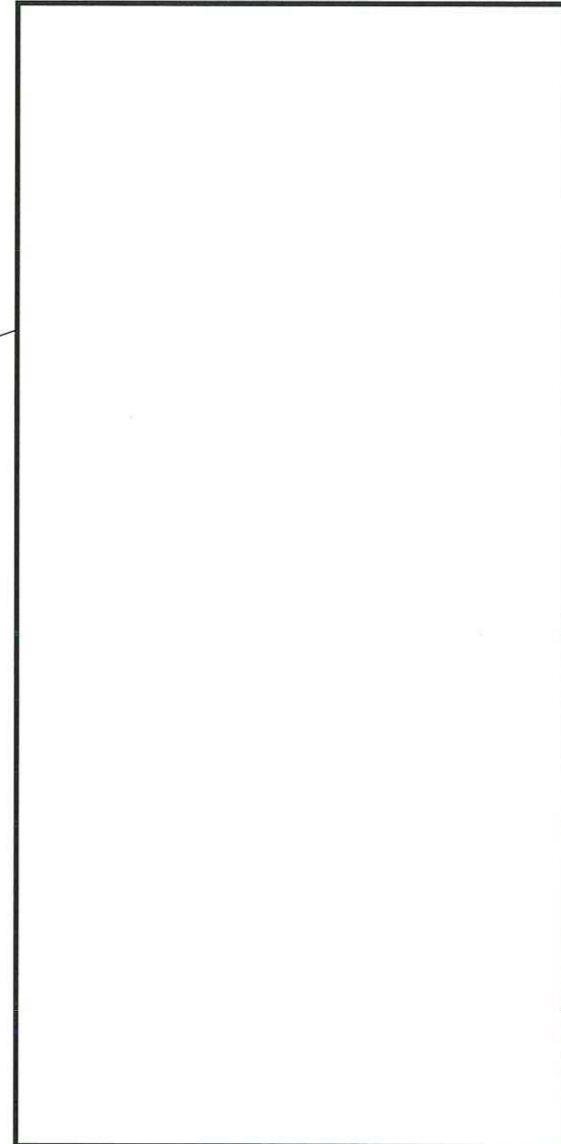
○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○フィルタユニット:—










【可燃物持込み管理】

6m範囲内

出入管理室フィルタユニット(3-③)





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)








-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 1号機



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機



(A系:設計ハ)

(A系:設計ハ)

(A系:設計ハ)

(B系:設計ハ)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)

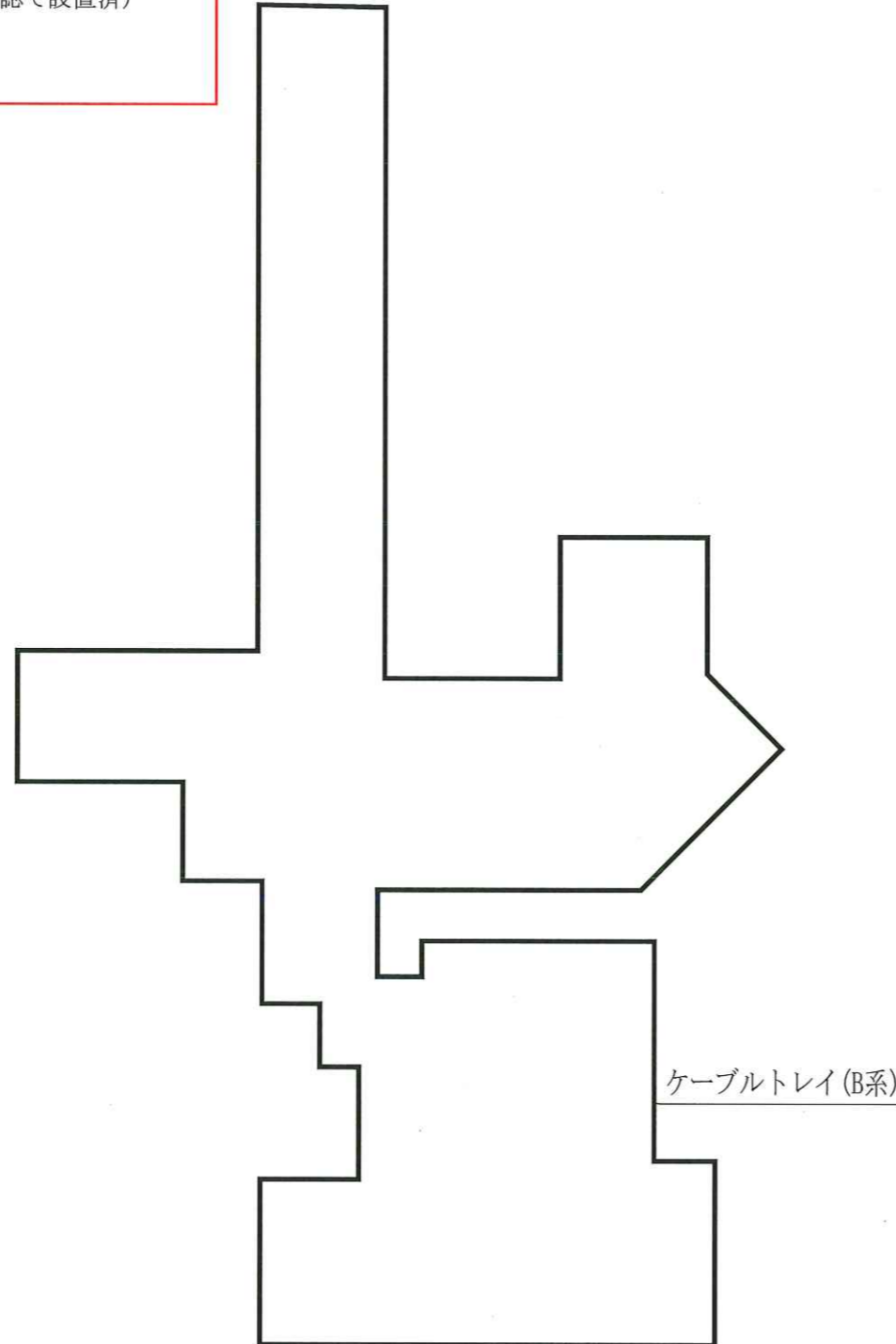
エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)

○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

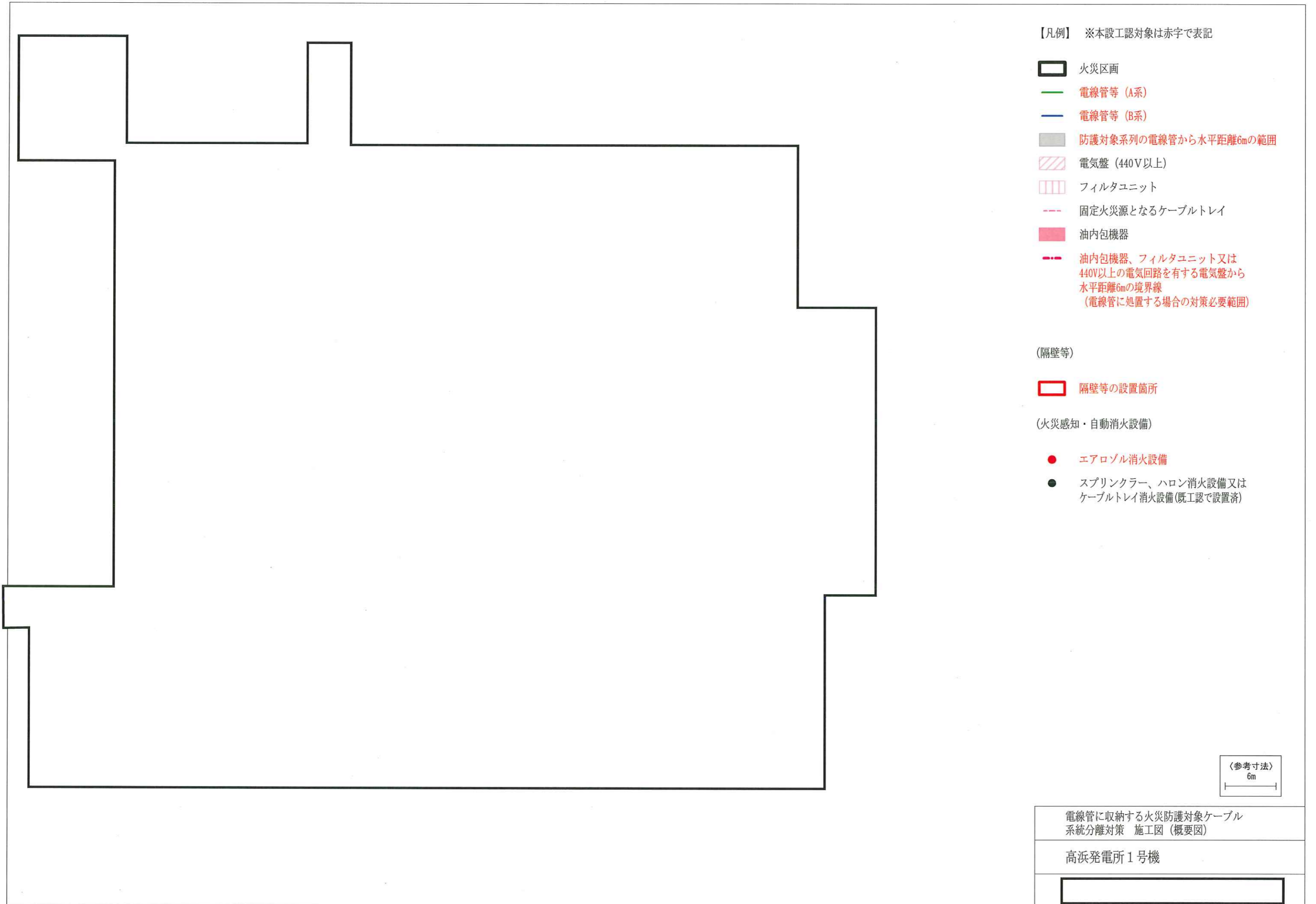
- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m










電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)










〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

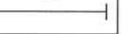
(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m








電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m










電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)


高浜発電所 1号機





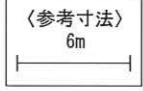
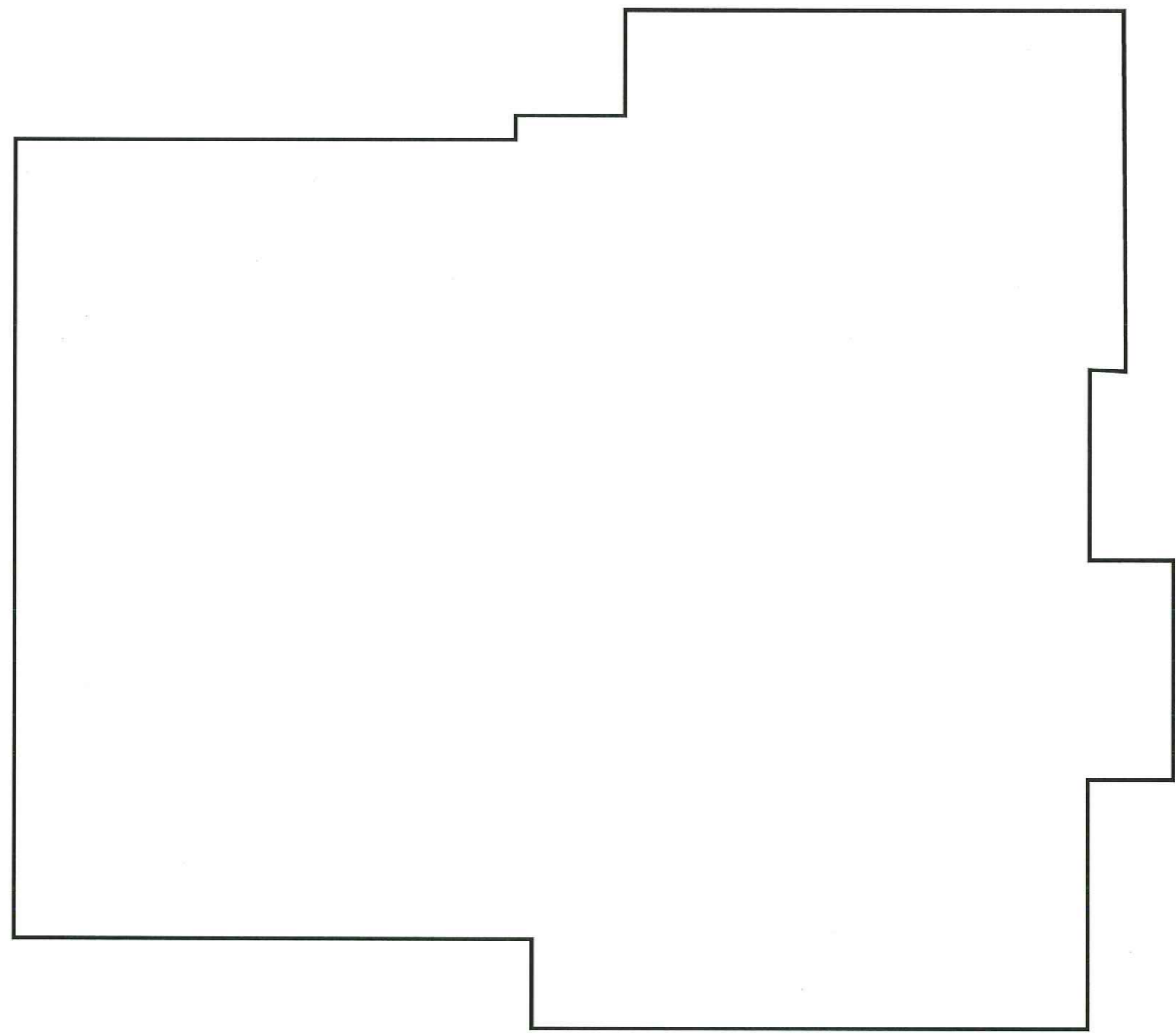
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。


【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

- (隔壁等)
-  隔壁等の設置箇所

- (火災感知・自動消火設備)
-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 1号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(一部)

電線管等(B系)ラッピング(一部)

- 油内包機器:電線管等(A系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない範囲)
- 電線管等(B系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない範囲)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 油内包機器:二酸化炭素消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区域
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)
- (隔壁等)
- 隔壁等の設置箇所
- (火災感知・自動消火設備)
- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

(AB系:設計「ハ」)

内の電線管はポンプ間に耐火壁あり、又内側は同系列火災源の範囲のため対策不要

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

(B系:設計「ハ」)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図(概要図)

高浜発電所1号機

(B系:設計「ハ」)










本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】
○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
○ケーブルトレイ(A系):ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】
6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

(B系:設計ハ)










ケーブルトレイ (A系)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 1号機



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

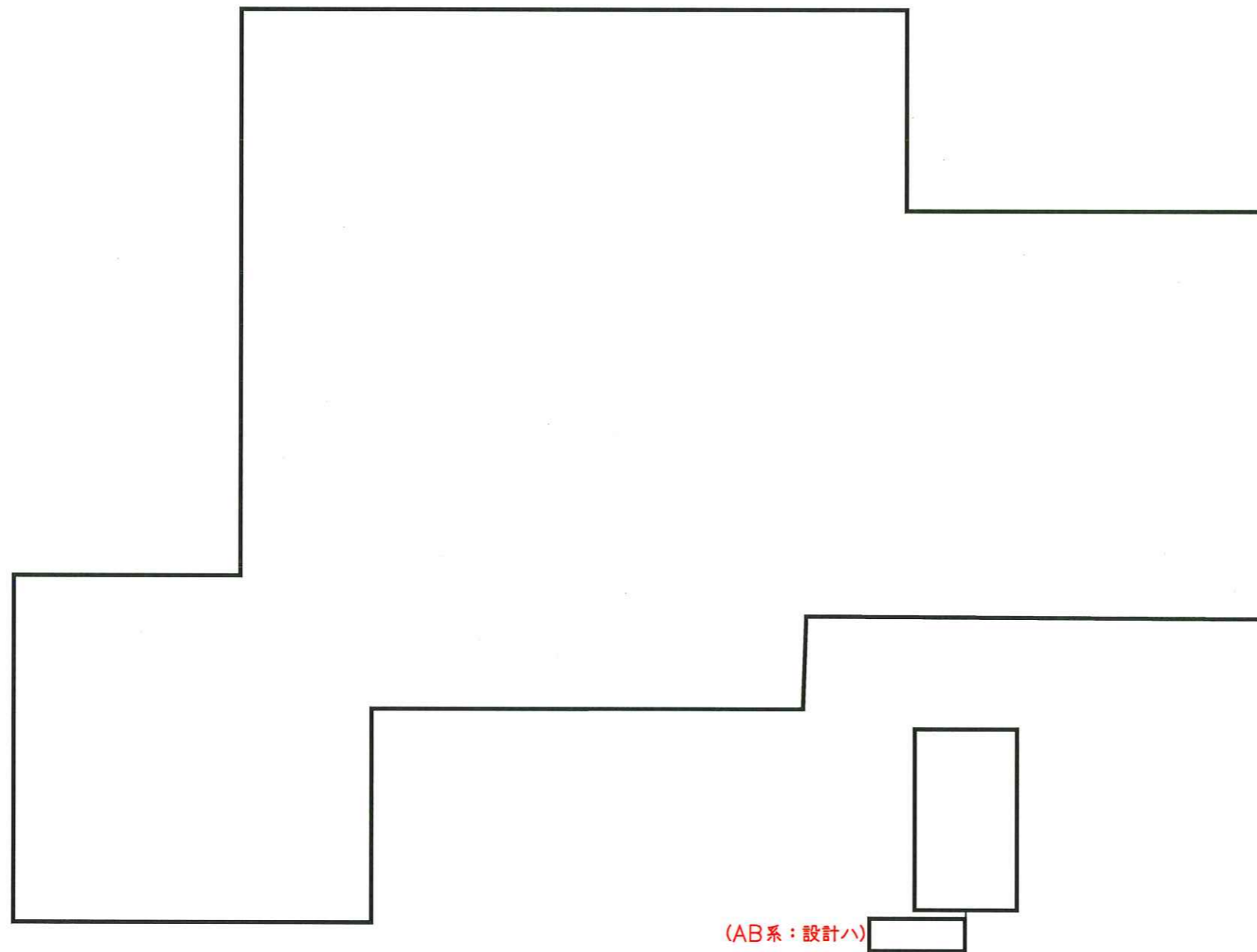
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(一部)

電線管等(B系)ラッピング(一部)

○電気盤:隔壁等を設置

電線管等(A系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

○油内包機器:電線管等(A系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)









○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

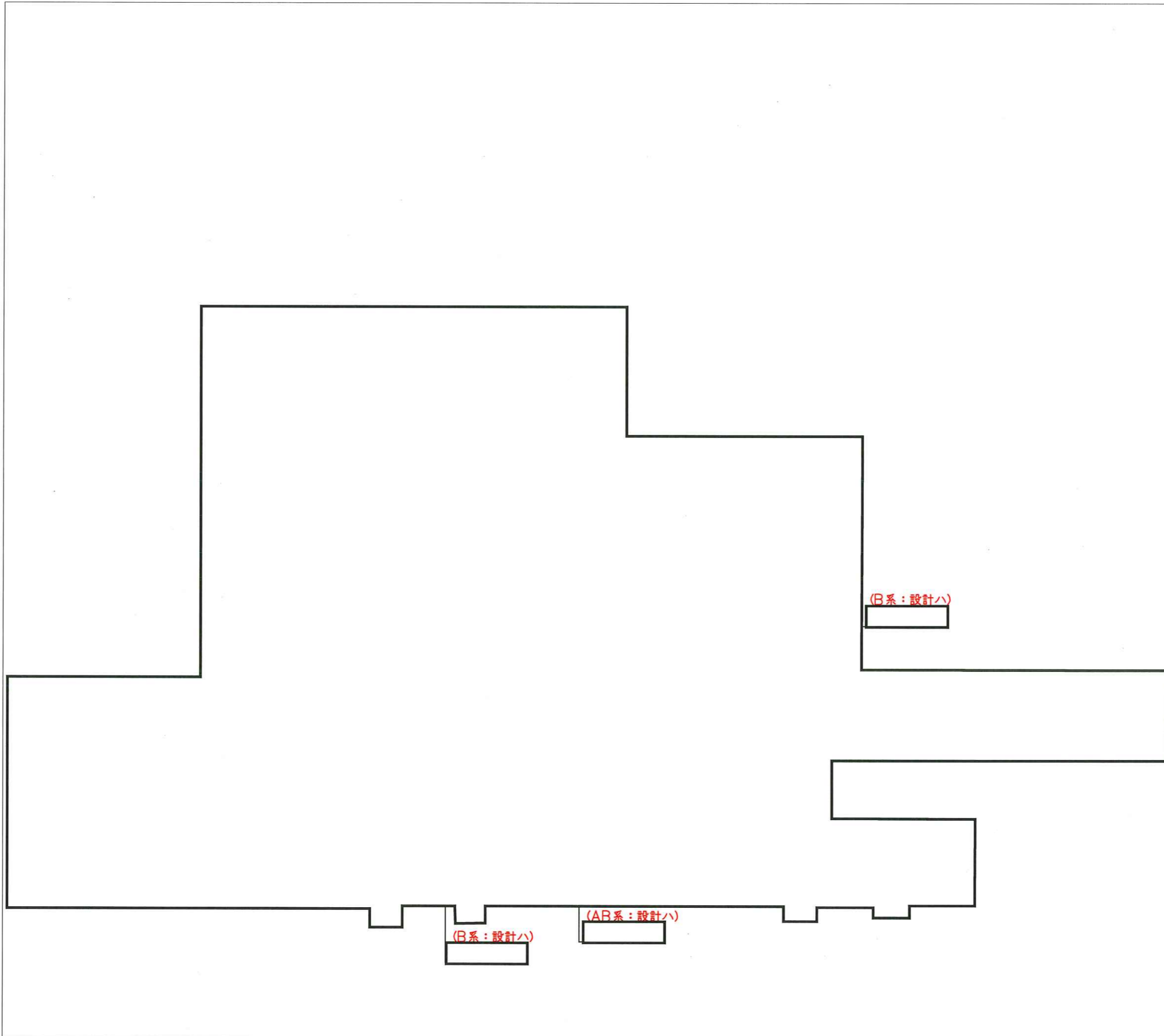
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)


-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 2号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

B系:設計「ハ」

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】










○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

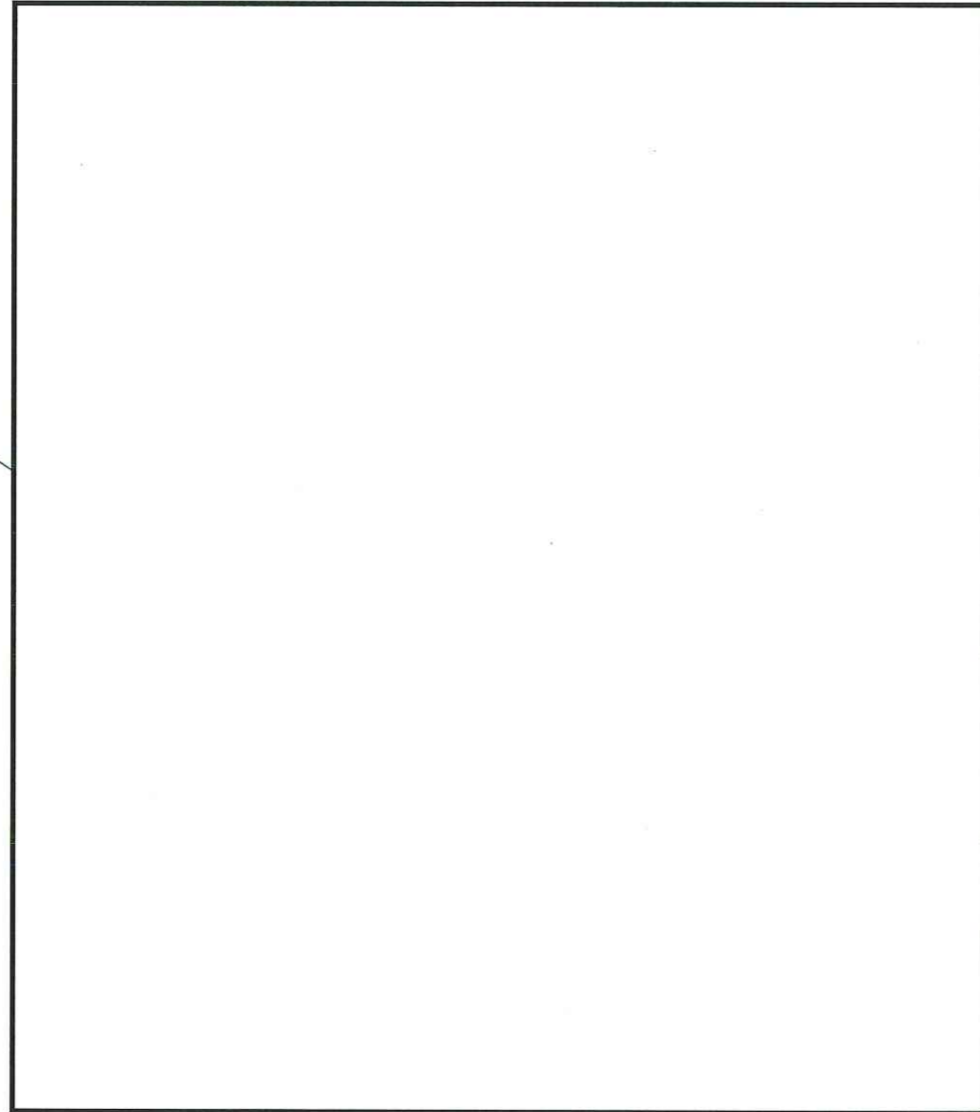
(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

ケーブルトレイ(A系)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(一部)

電線管等(B系)ラッピング(一部)

○電気盤:隔壁等を設置

電線管等(A系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)

○油内包機器:電線管等(A系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

電線管等(B系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応










○電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

A計器用空気圧縮機

A計器用空気圧縮機盤

B計器用空気圧縮機盤

B計器用空気圧縮機

A計器用空気乾燥器電源箱(1-②)

S/G水張りポンプ

A電動補助給水ポンプ

B電動補助給水ポンプ

B計器用空気乾燥器電源箱(1-②)

2可搬式空気圧縮機分電盤(主蒸気逃がし弁作用)(1-②)

脱気水注入装置電源トランス盤(1-②)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】










○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

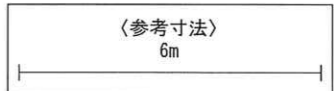
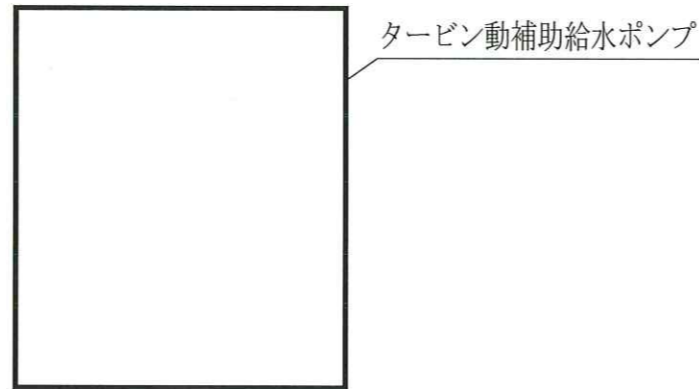
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

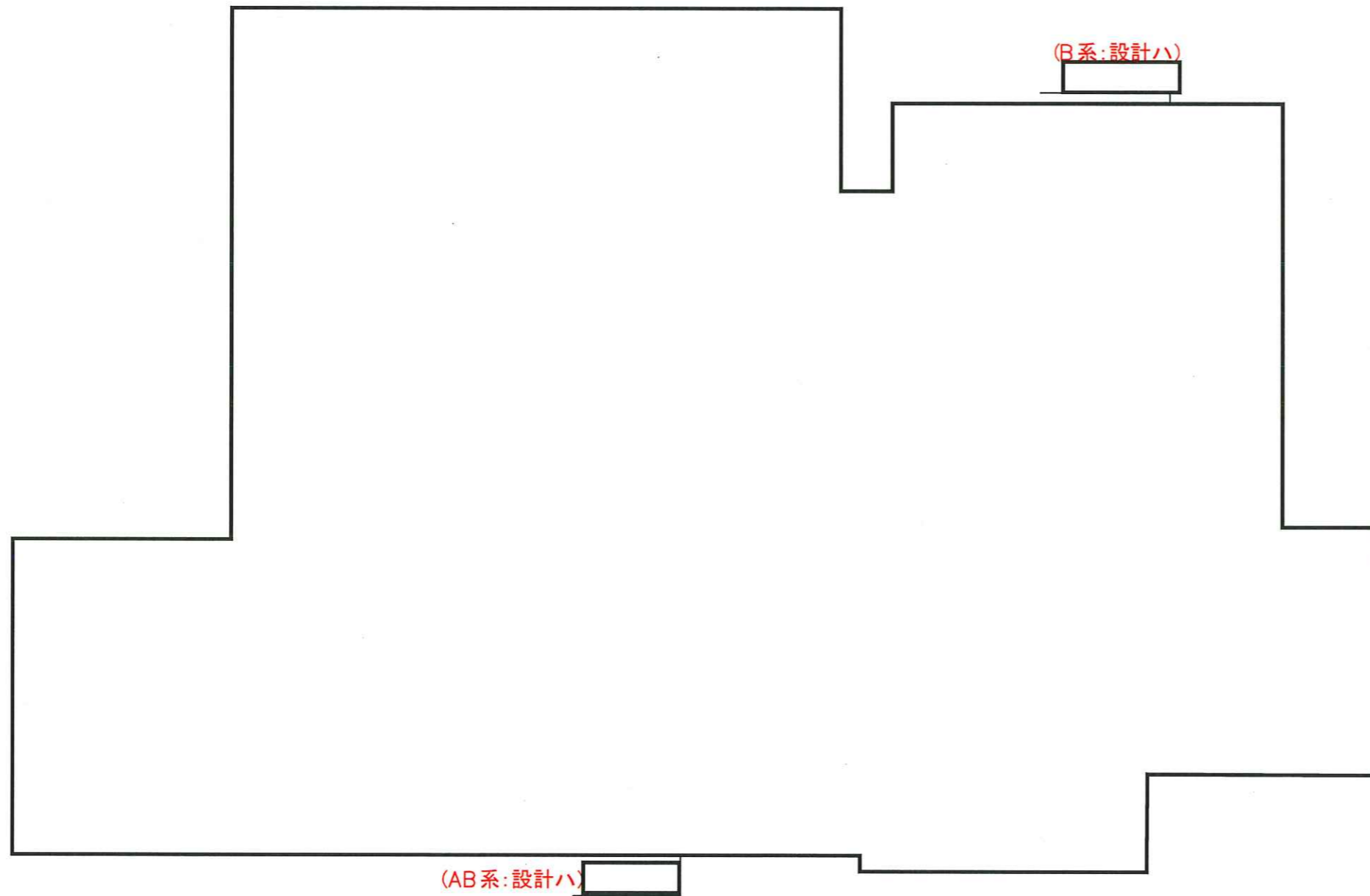
(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

処置不要(防護対象系列の電線管6m以内に固定火災源なし)









【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

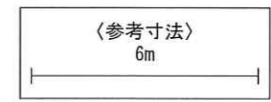
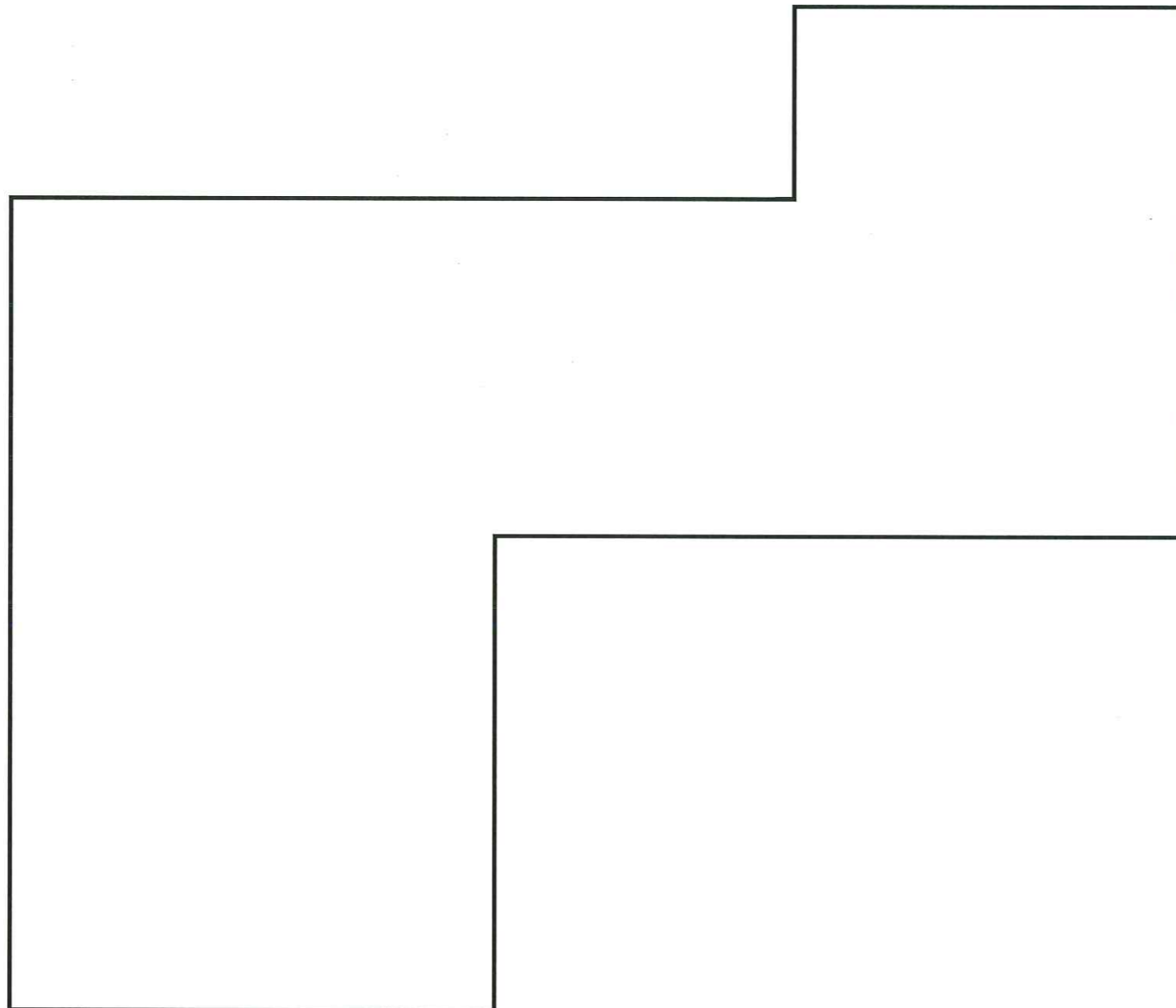
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

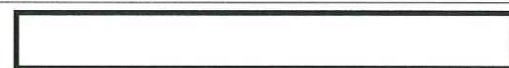
(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

- 【隔壁等】
 電線管等(A系)ラッピング(全部)
 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
 スプリンクラー(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
 局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

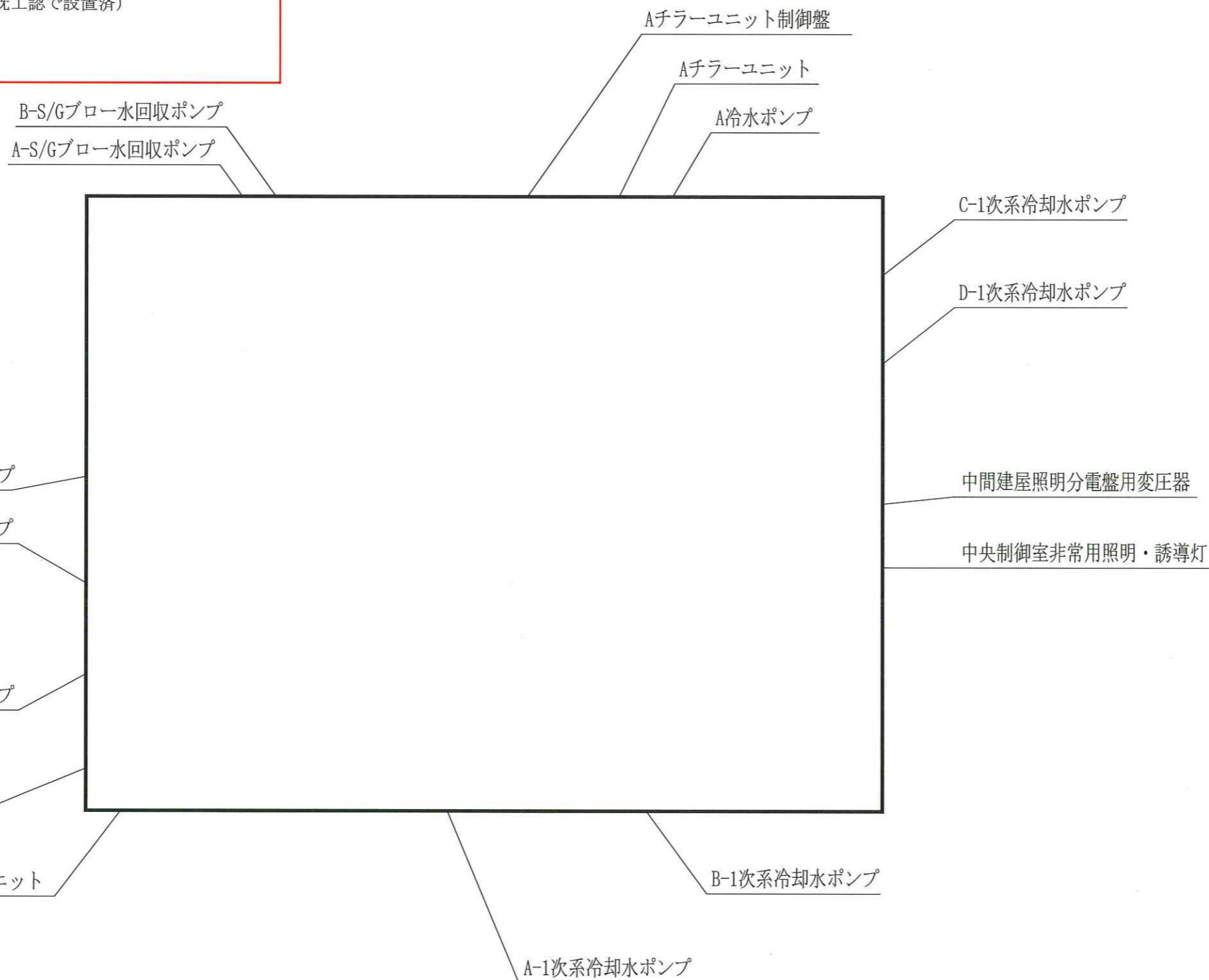
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
 系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

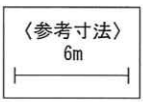
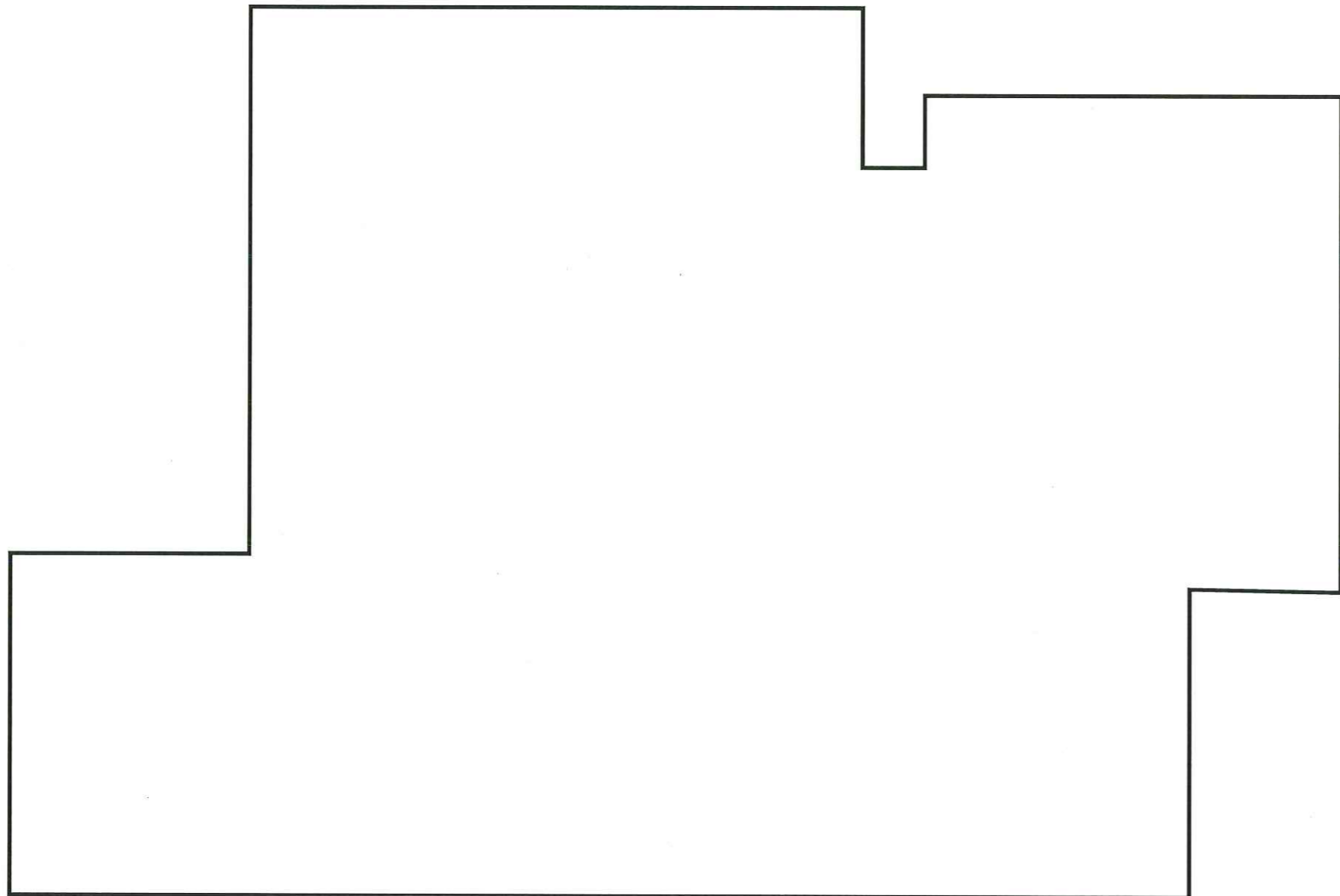
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

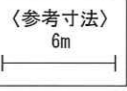
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)


(隔壁等)

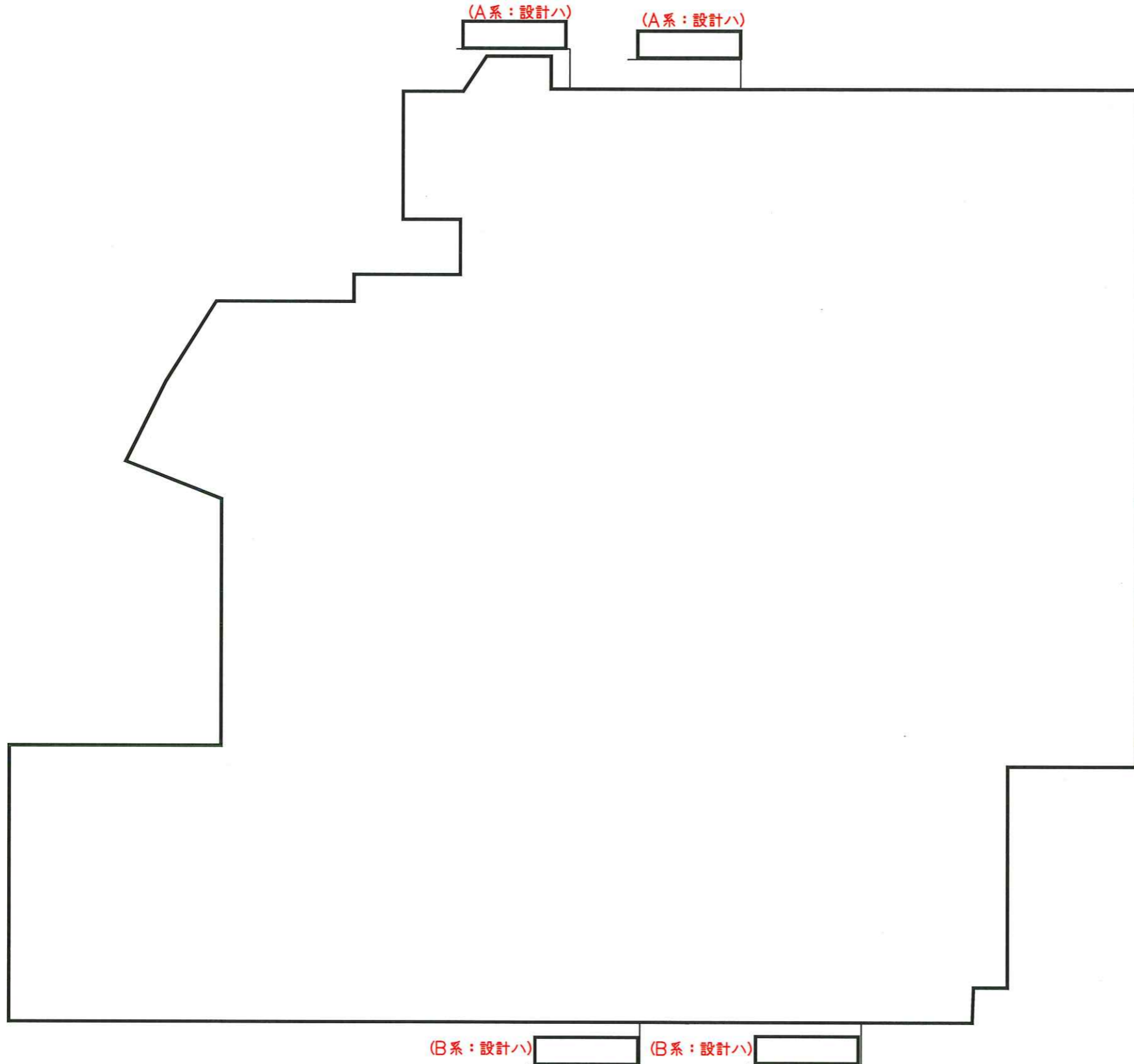
-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 2号機




枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)










【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

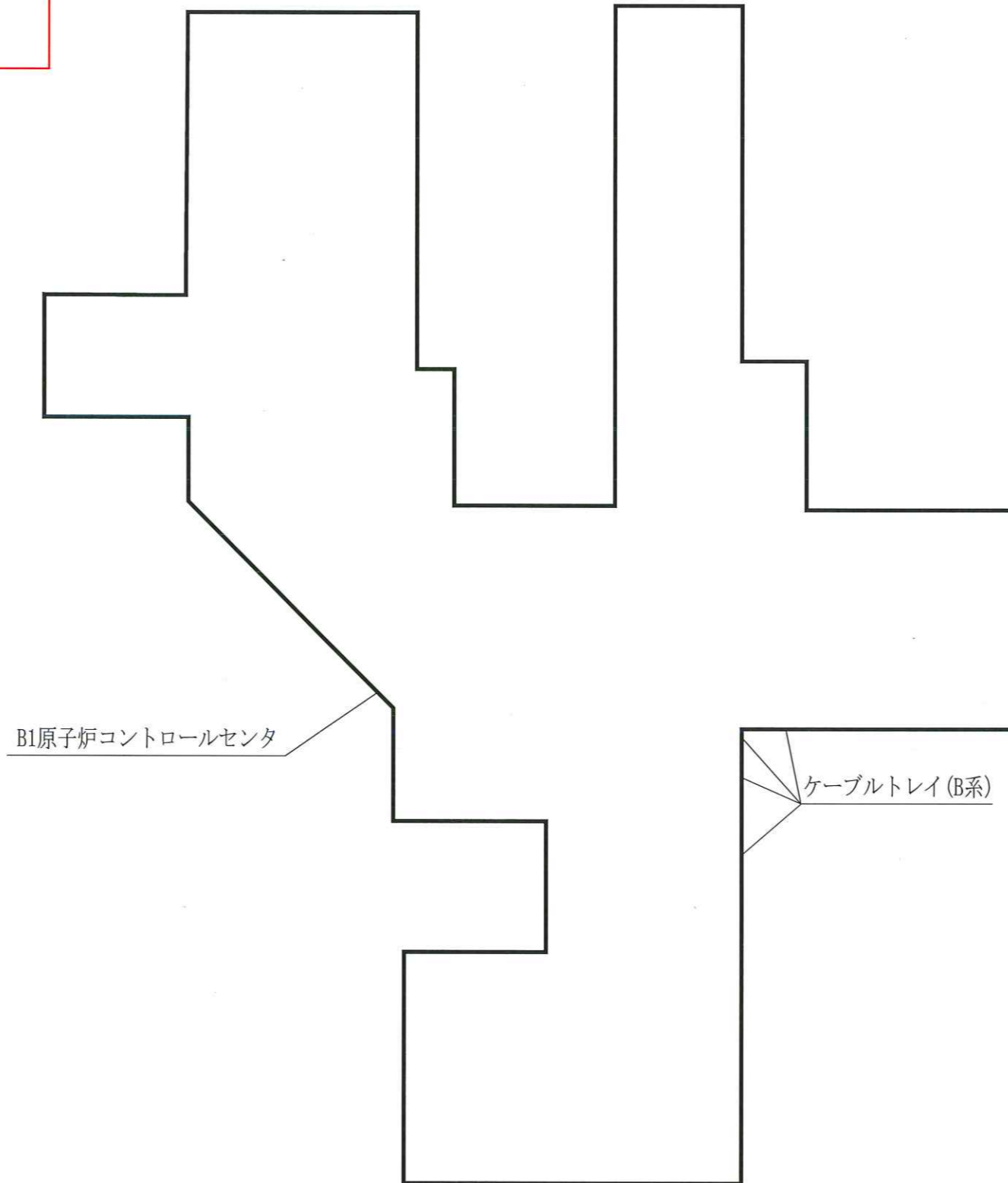
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)










本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】
○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】
6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

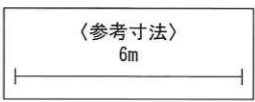
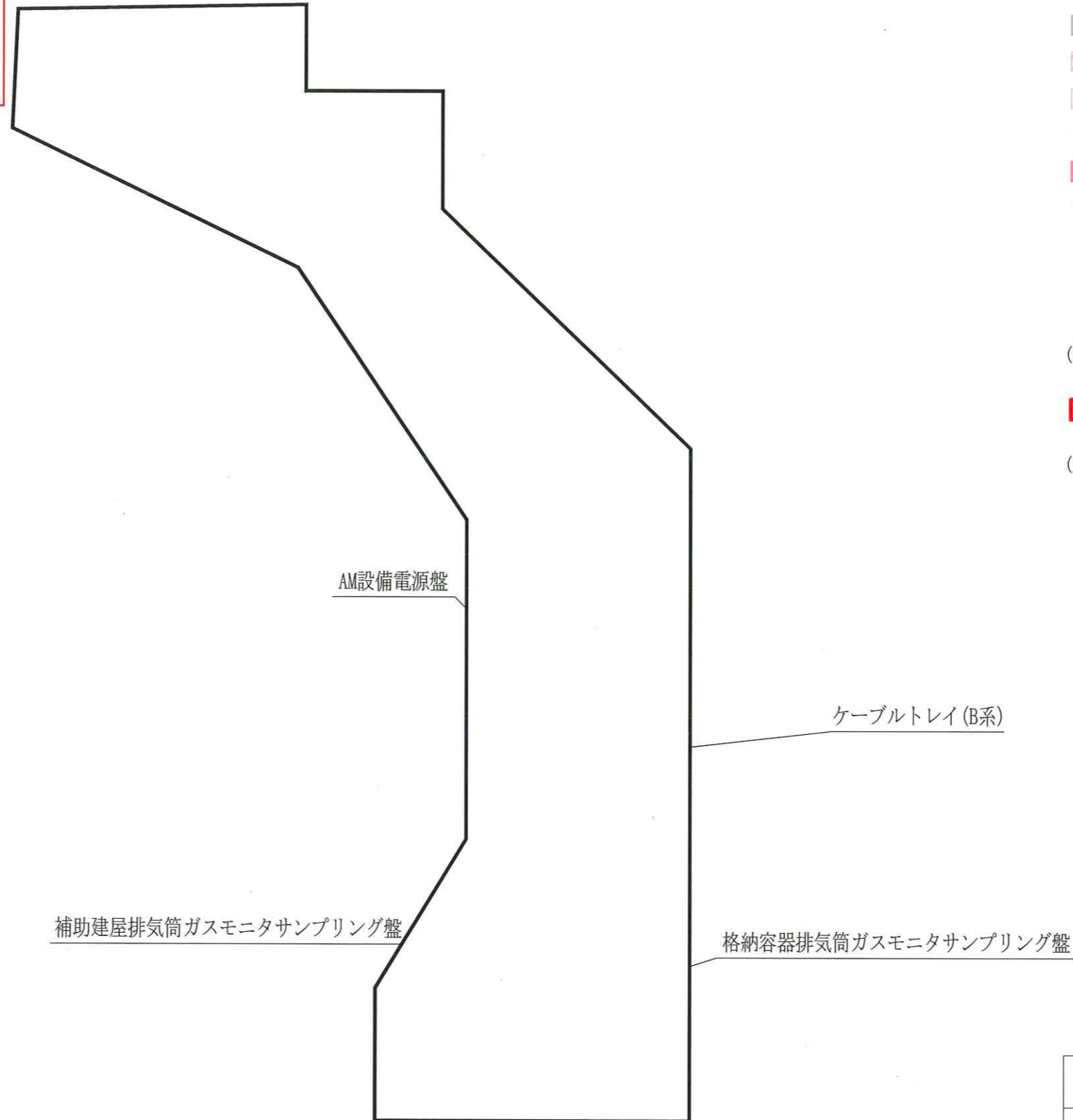
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(一部)

- 電気盤:電線管等(B系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)
- ケーブルトレイ(A系):電線管等(B系)ラッピング(一部:ケーブルトレイ(A系)6m範囲)
- ケーブルトレイ(N系):電線管等(B系)ラッピング(一部:ケーブルトレイ(N系)6m範囲)
一部に蓋を設置





【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

高感度型主蒸気管モニタ検出器温度制御盤

格納容器電気防食盤

ケーブルトレイ (N系) (1-②)

ケーブルトレイ (A系)

C-CRDMスイッチギヤ室空調装置制御盤

A-CRDMスイッチギヤ室空調装置制御盤

B-CRDMスイッチギヤ室空調装置制御盤

A-CRDMスイッチギヤ室空調装置

スチームコンバータ室空調制御盤

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

処置不要(防護対象系列の電線管6m以内に固定火災源なし)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

- 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)










- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 2号機



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

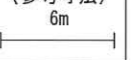
(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



(A系：設計ハ)

(B系：設計ハ)

(A系：設計ハ)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)










【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

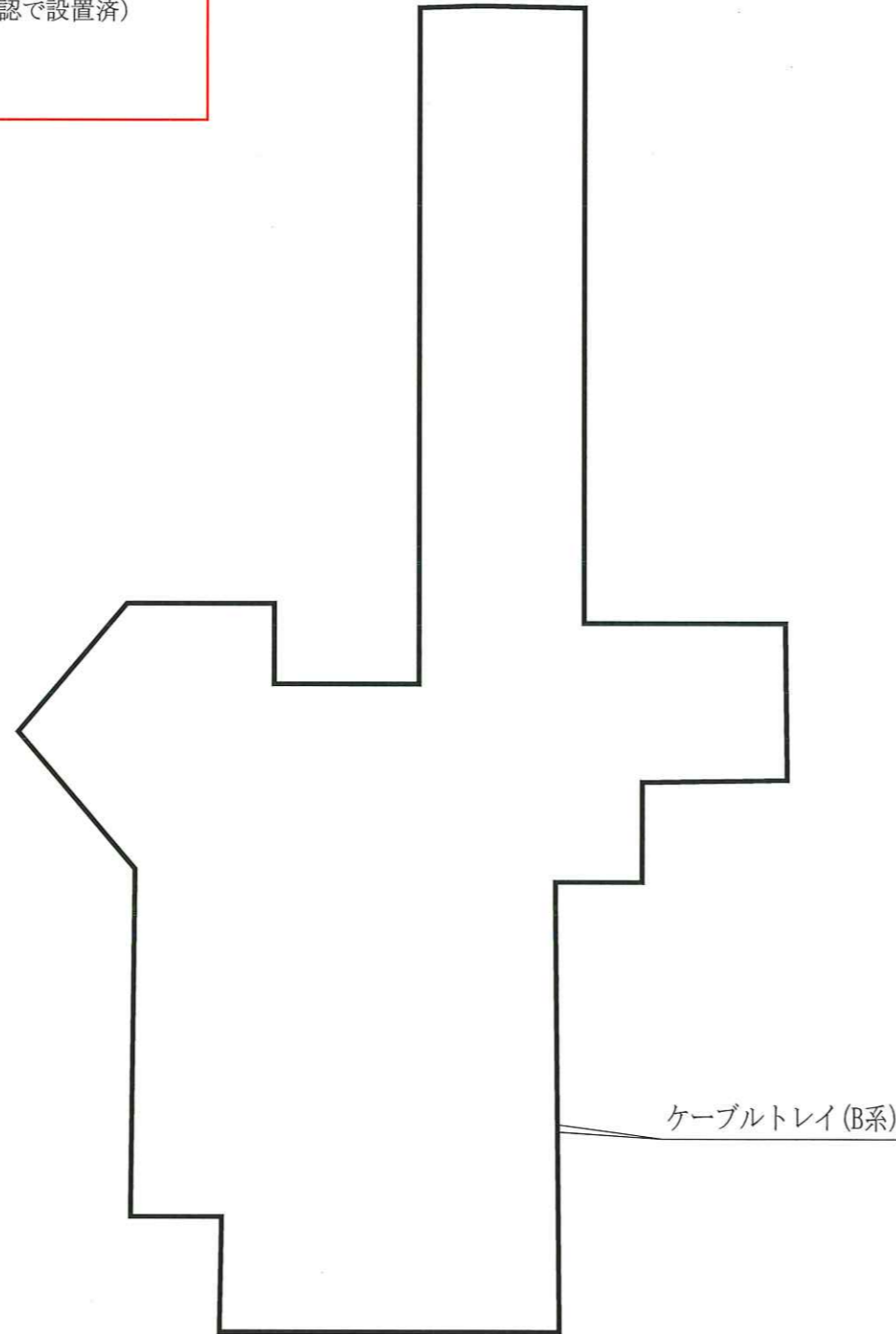
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉

6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(一部)

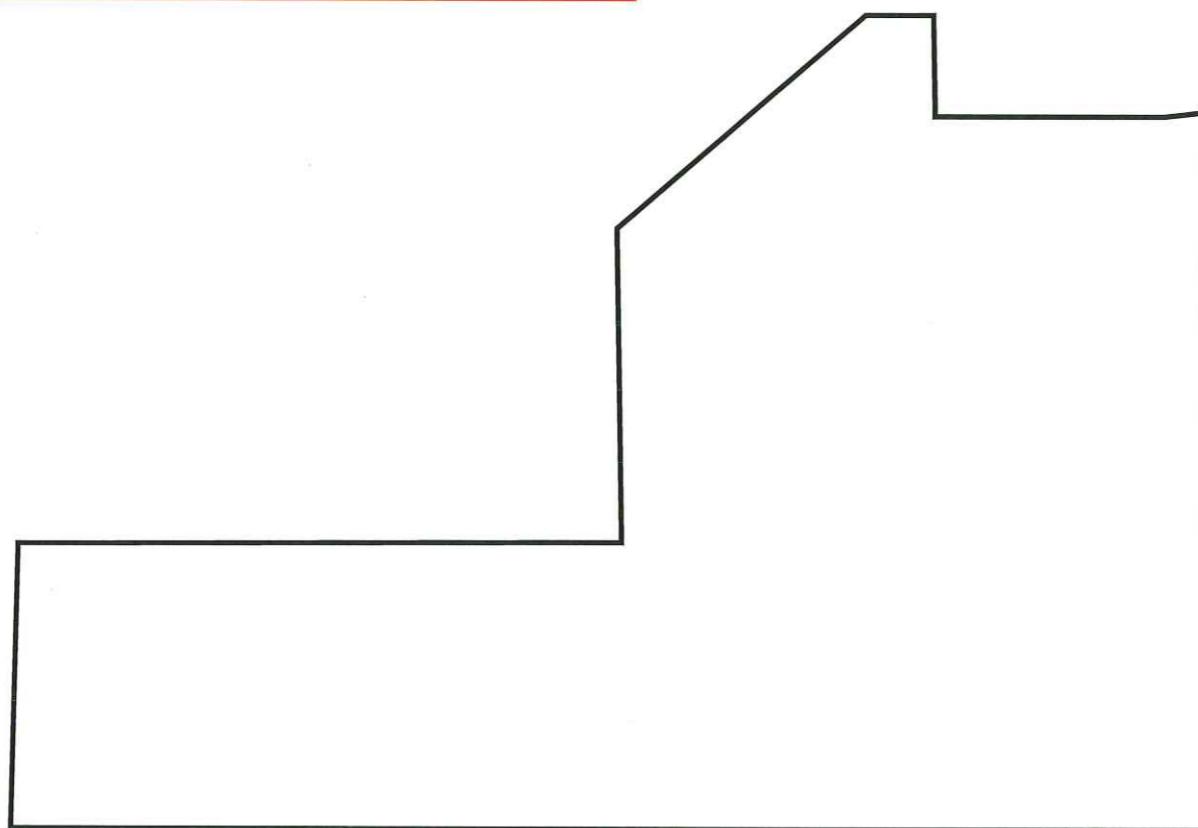
- 電気盤:電線管等(B系)ラッピング(一部:電気盤6m範囲)
- ケーブルトレイ(A系):電線管等(B系)ラッピング(一部:ケーブルトレイ(A系)6m範囲)
- ケーブルトレイ(N系):電線管等(B系)ラッピング(一部:ケーブルトレイ(N系)6m範囲)
一部に蓋を設置

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)
スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- フィルタユニット
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

- 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

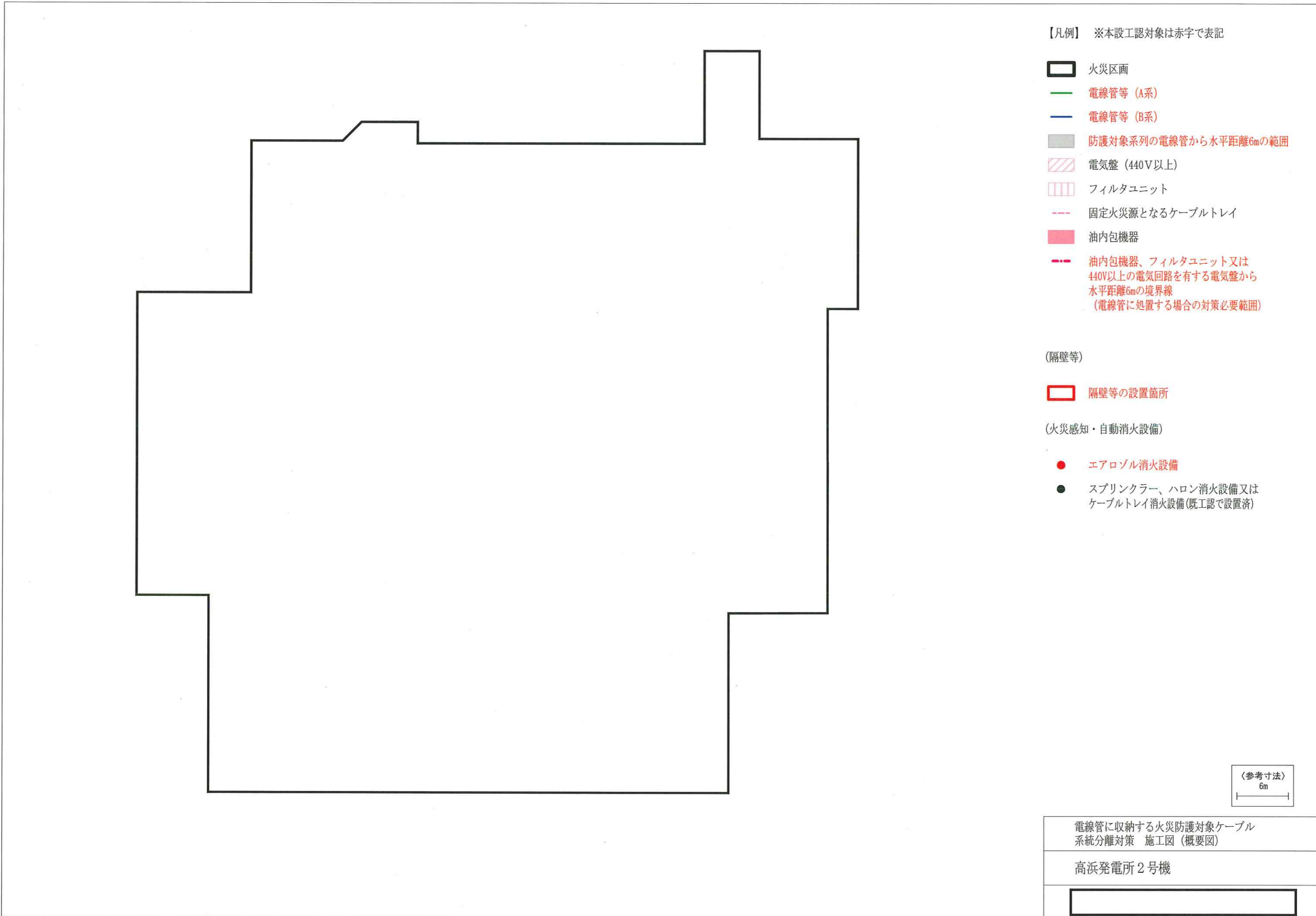
- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉










6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所2号機





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

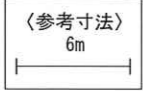
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)












電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

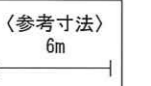
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(一部)
- 電線管等(B系)ラッピング(一部)
- 油内包機器:電線管等(A系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない範囲)
- 電線管等(B系)ラッピング(一部:油内包機器6m範囲であり、耐火壁で防護されていない範囲)










【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 油内包機器:二酸化炭素消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区域
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)


-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

A海水ポンプ

B海水ポンプ

C海水ポンプ

D海水ポンプ

 内の電線管はポンプ間に耐火壁あり、又内側は同系列火災源の範囲のため対策不要

(B系:設計ハ)

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

(AB系:設計ハ)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図(概要図)

高浜発電所2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

○ケーブルトレイ(B系): 全部に蓋を設置

【火災感知・自動消火設備】








○防護対象系列の電線管周辺: 運用にて対応

○ケーブルトレイ(B系): ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  フィルタユニット
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器、フィルタユニット又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

ケーブルトレイ(B系)(1-②)

(A系:設計ハ)

〈参考寸法〉

6m



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 2号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 3

高浜 3， 4 号機

火災防護対象ケーブルを収納する電線管の系統分離対策

別添 3-1

高浜 3, 4 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

高浜3，4号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023年4月28日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。

高浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)	運用等ハ(ハ)
							固定火災源	防護対象系列 の電線管			火災感知・自動消火設備の設置※3 固定火災源※1	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
火災区画		2次系継電器室	ロ	B	B							
火災区画		中央制御室ケーブル処理室(3・4号機 共用)	ロ	A	A							
火災区画		1次系継電器室	ロ	A	-							
火災区画		海水管室	イ	A	A							
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	ハ	AB	AB	電気盤(3B格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、3A空調冷凍機盤、3R-59) 電気盤(3A格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、3B空調冷凍機盤) ケーブルトレイ(N系) 油内包機器(3A電動補助給水ポンプ、3B電動補助給水ポンプ、3A格納容器外制御用空気圧縮機、3B格納容器外制御用空気圧縮機、3A空調用冷凍機、3B空調用冷凍機、3A空調用冷水ポンプ、3B空調用冷水ポンプ)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E]□□□□ 電線管等(B系)ラッピング(全部) [E]□□□□	-	エアロゾル消火設備(既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済) 局所ハロン消火設備(既工認で設置済)	パターン1
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	ハ	A	-	油内包機器(タービン動補助給水ポンプ)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E]□□□□	-	局所ハロン消火設備(既工認で設置済、 系統分離対策に流用)	パターン1
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	ハ	AB	AB	電気盤(高圧盤・低圧盤、3A非管理区域照明変圧器) 電気盤(3SGBD水質監視盤、3B非管理区域照明変圧器) ケーブルトレイ(N系) 油内包機器(3A-原子炉補機冷却水ポンプ、3B-原子炉補機冷却水ポンプ、3C-原子炉補機冷却水ポンプ、3D-原子炉補機冷却水ポンプ、3E-原子炉補機冷却水ポンプ)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E]□□□□、[E]□□□□の中間床 電線管等(B系)ラッピング(全部) [E]□□□□、[E]□□□□の中間床	-	エアロゾル消火設備(新設) スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済) 局所ハロン消火設備(既工認で設置済)	パターン1
火災区画		中間建屋 E.L.□□□□通路	ロ	B	B							
火災区画		中央制御室空調装置室	ハ	A	A	ケーブルトレイ(B系) ケーブルトレイ(N系)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E]□□□□の中間床	-	スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済)	パターン2

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン

- (1時間)
- 1-①:
- 1-②:
- (3時間)
- 3-①:
- 3-②:
- 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (2/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区分共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区分内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)	運用等ハ(ハ)	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3 固定火災源※1	可燃物 持込み管理 パターン1: 区分全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区分		配管貫通部冷却ユニットファン室・再循環弁室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1 , E1 の中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1
火災区分		ほう酸ポンプ室及びほう酸タンク室	ロ	AB	AB	/	/	/	/	/	/	/
火災区分		原子炉補助建屋 E.L. 通路2	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区分		ほう酸注入循環ポンプ室他	ハ	A	-	電気盤 (3uB電動弁現場操作盤-1、3C管理区域照明変圧器) 電気盤 (3uB電動弁現場操作盤-2、3uB電動弁現場操作盤-3) ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (3Aほう酸注入循環ポンプ、3Bほう酸注入循環ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1 , E1 の中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (新設) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1
火災区域		海水ポンプ室 (3・4号機共用)	ハ	AB	A	-	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1]	-	-	パターン1

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所4号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/1)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区画		2次系継電器室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EL n]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) 全域ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		1次系継電器室	ロ	A	-		/	/	/	/	/	/
火災区画		海水管室	イ	A	A		/	/	/	/	/	/
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	ハ	AB	AB	電気盤 (4B格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、4A空調冷凍機盤) 電気盤 (4A格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、4B空調冷凍機盤) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4A電動補助給水ポンプ、4B電動補助給水ポンプ、4A格納容器外制御用空気圧縮機、4B格納容器外制御用空気圧縮機、4A空調用冷凍機、4B空調用冷凍機、4A空調用冷水ポンプ、4B空調用冷水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EL n] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EL n]	-	エアロゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	ハ	A	-	油内包機器 (タービン動補助給水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EL n]	-	局所ハロン消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用)	パターン1
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	ハ	AB	AB	電気盤 (4SGBD水質監視盤) 電気盤 (4A非管理区域照明変圧器、4B非管理区域照明変圧器) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4A-原子炉補機冷却水ポンプ、4B-原子炉補機冷却水ポンプ、4C-原子炉補機冷却水ポンプ、4D-原子炉補機冷却水ポンプ、4E-原子炉補機冷却水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EL h, EL nの中間床] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EL h, EL nの中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (新設) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1
火災区画		中間建屋 E.L. 通路	ロ	B	B		/	/	/	/	/	/
火災区画		中央制御室空調装置室	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EL hの中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		配管貫通部冷却ユニットファン室・再循環弁室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [EL h, EL nの中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1
火災区画		ほう酸ポンプ室及びほう酸タンク室	ロ	AB	A		/	/	/	/	/	/
火災区画		ほう酸注入循環ポンプ室他	ハ	A	-	電気盤 (4uB電動弁現場操作盤-1、4uB電動弁現場操作盤-2、4C管理区域照明変圧器) ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4Aほう酸注入循環ポンプ、4Bほう酸注入循環ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [EL h, EL nの中間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 3-2

高浜 3, 4 号機

系統分離対策範囲図

1. 目的

本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

高浜 3，4 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

なお、本資料内容については、設計及び工事計画の申請段階（2023 年 4 月 28 日時点）における施工内容を示すものであり、今後施工内容を詳細に検討する過程で変更が生じた場合、適正化するものとする。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

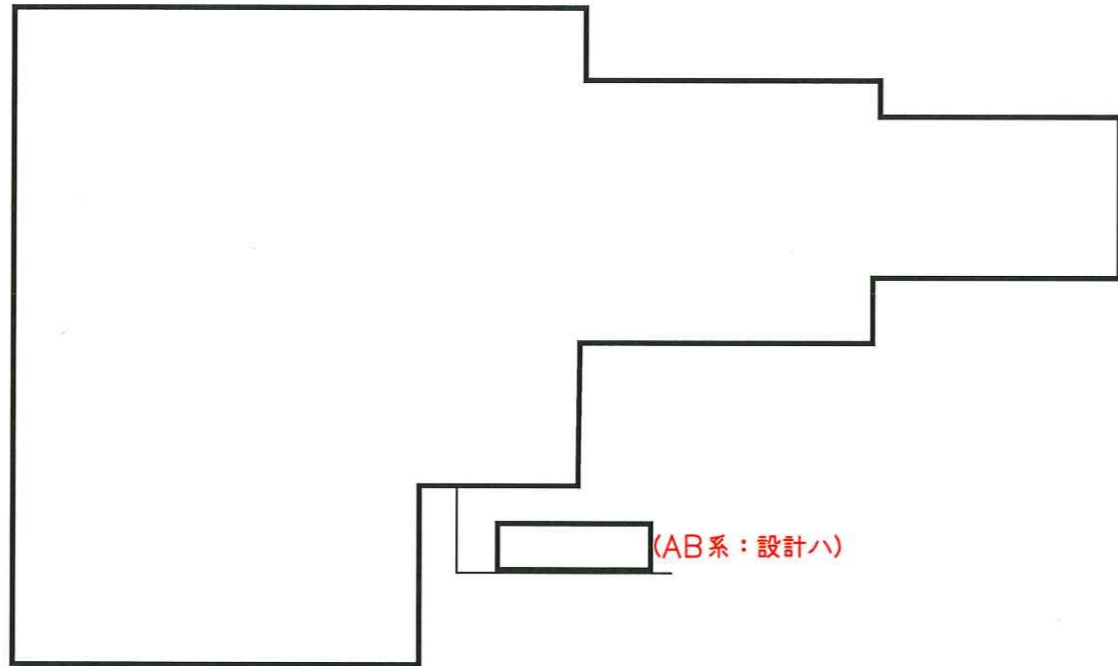
-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)
電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区域
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

3A海水ポンプ
3B海水ポンプ
3C海水ポンプ
4A海水ポンプ
4B海水ポンプ
4C海水ポンプ

内は設計口とする









〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

(A系:設計ハ)

(B系:設計ハ)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

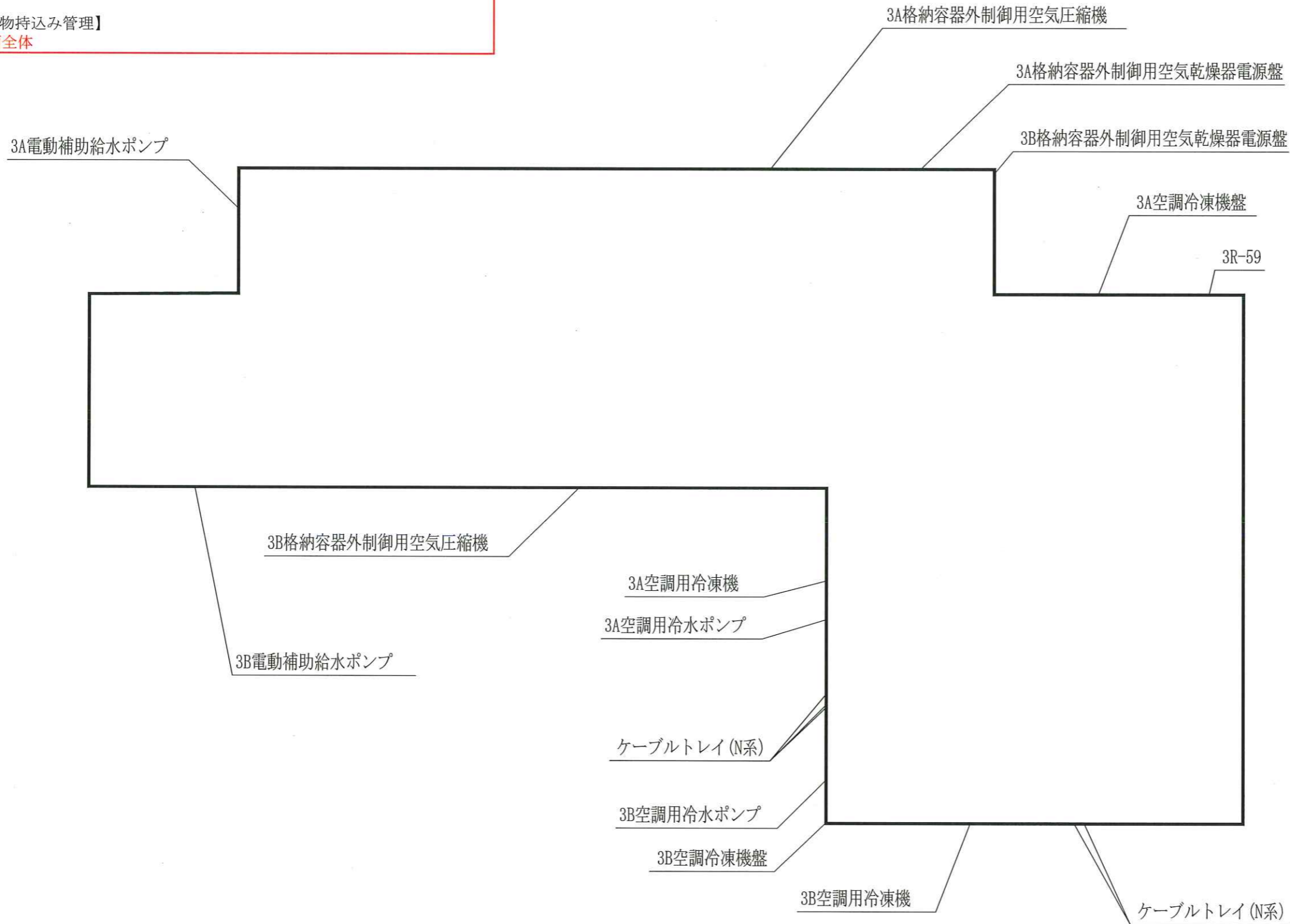
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】


○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

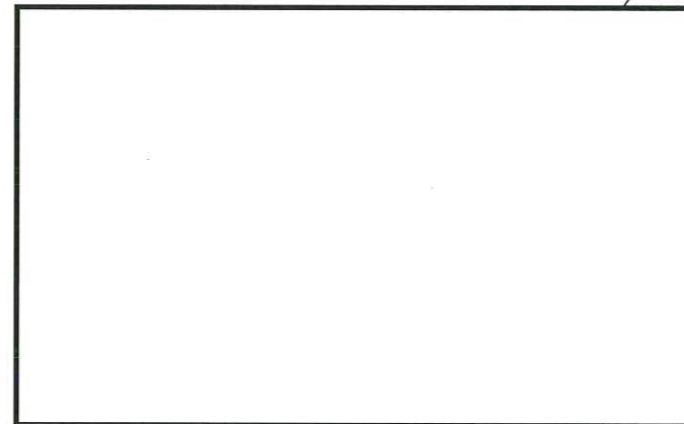
(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

タービン動補助給水ポンプ



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

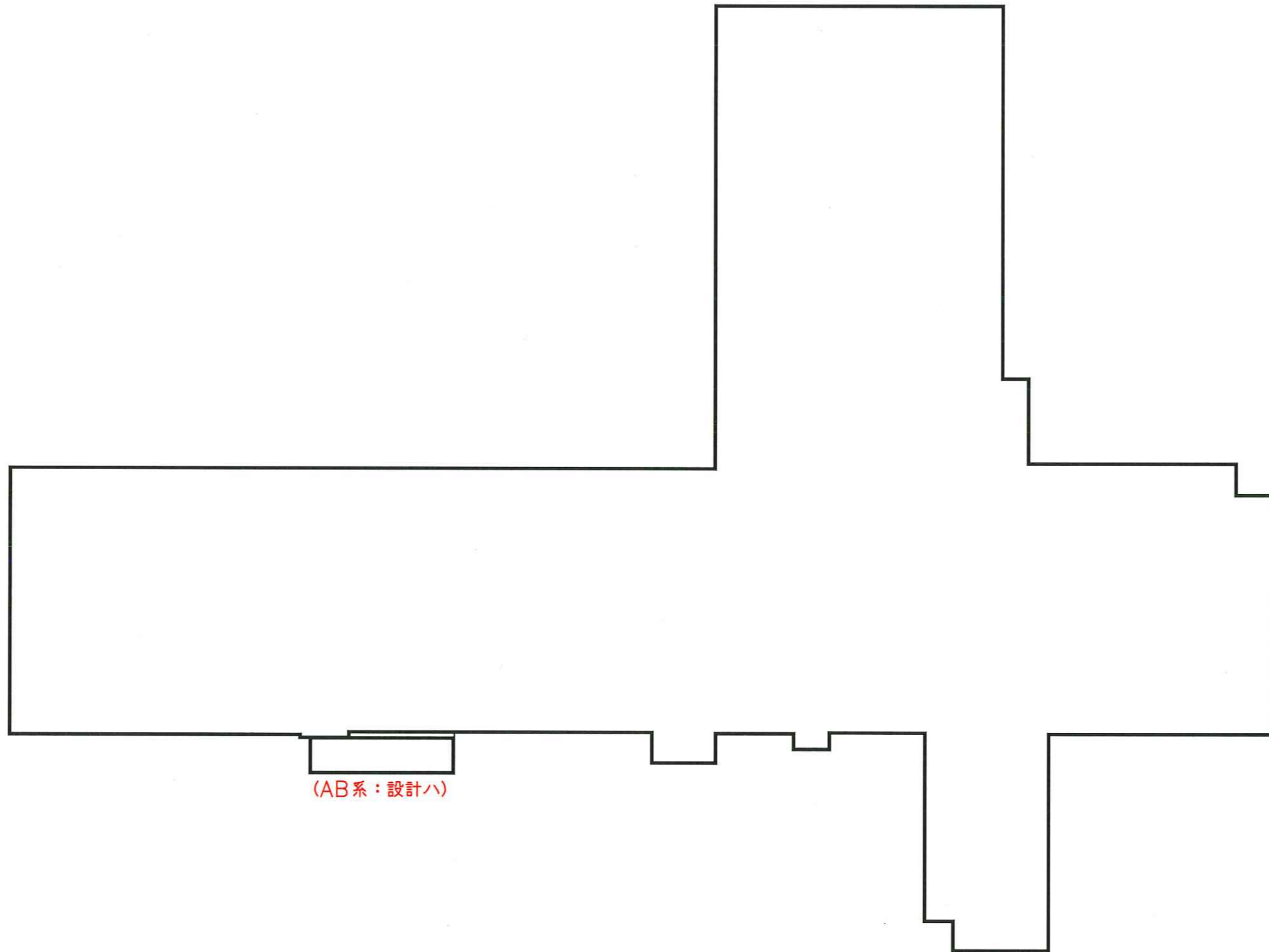
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

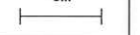
-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



(AB系:設計ハ)

〈参考寸法〉

6m



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(新設)
スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

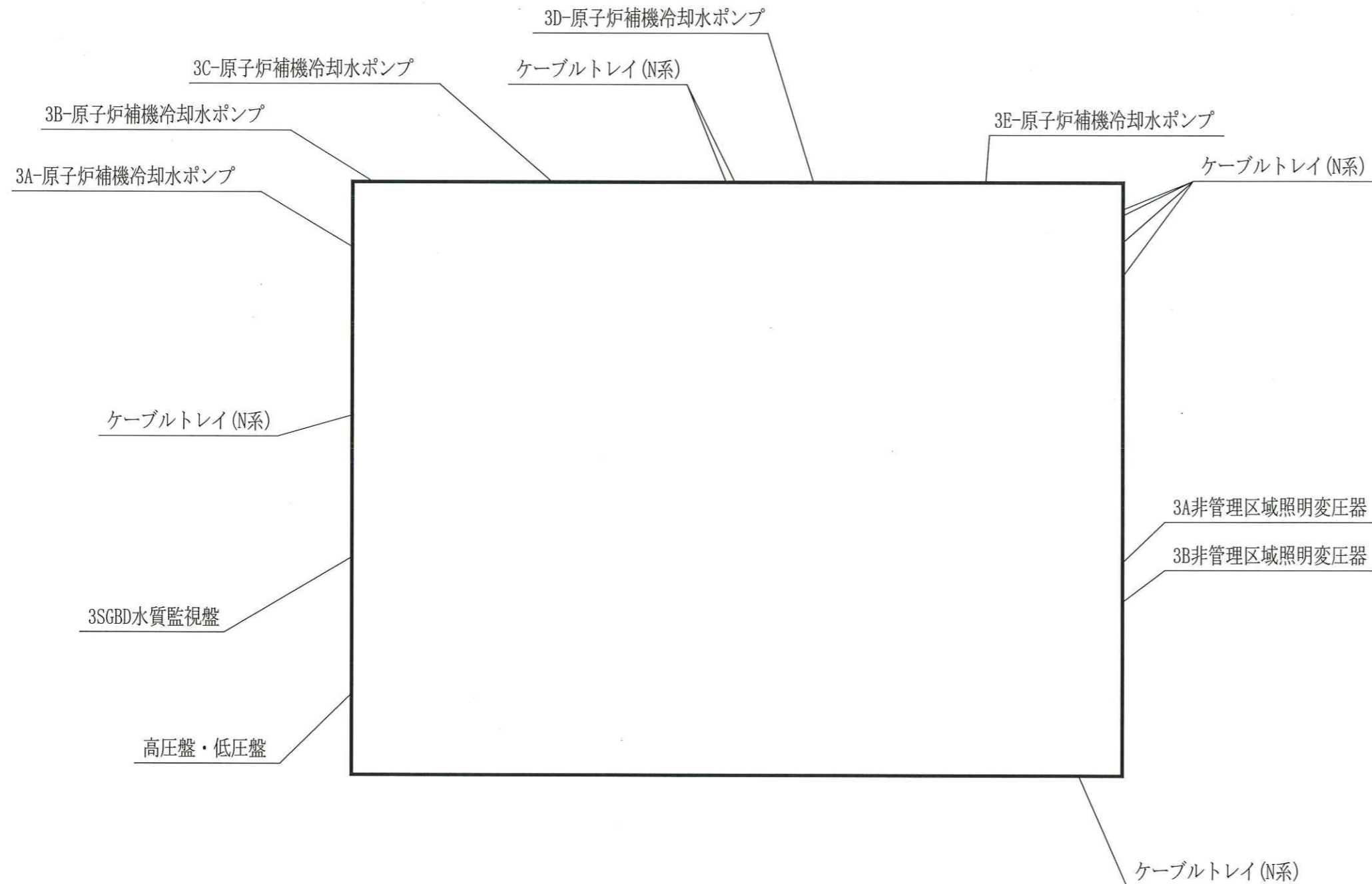
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

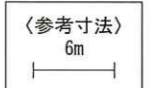
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

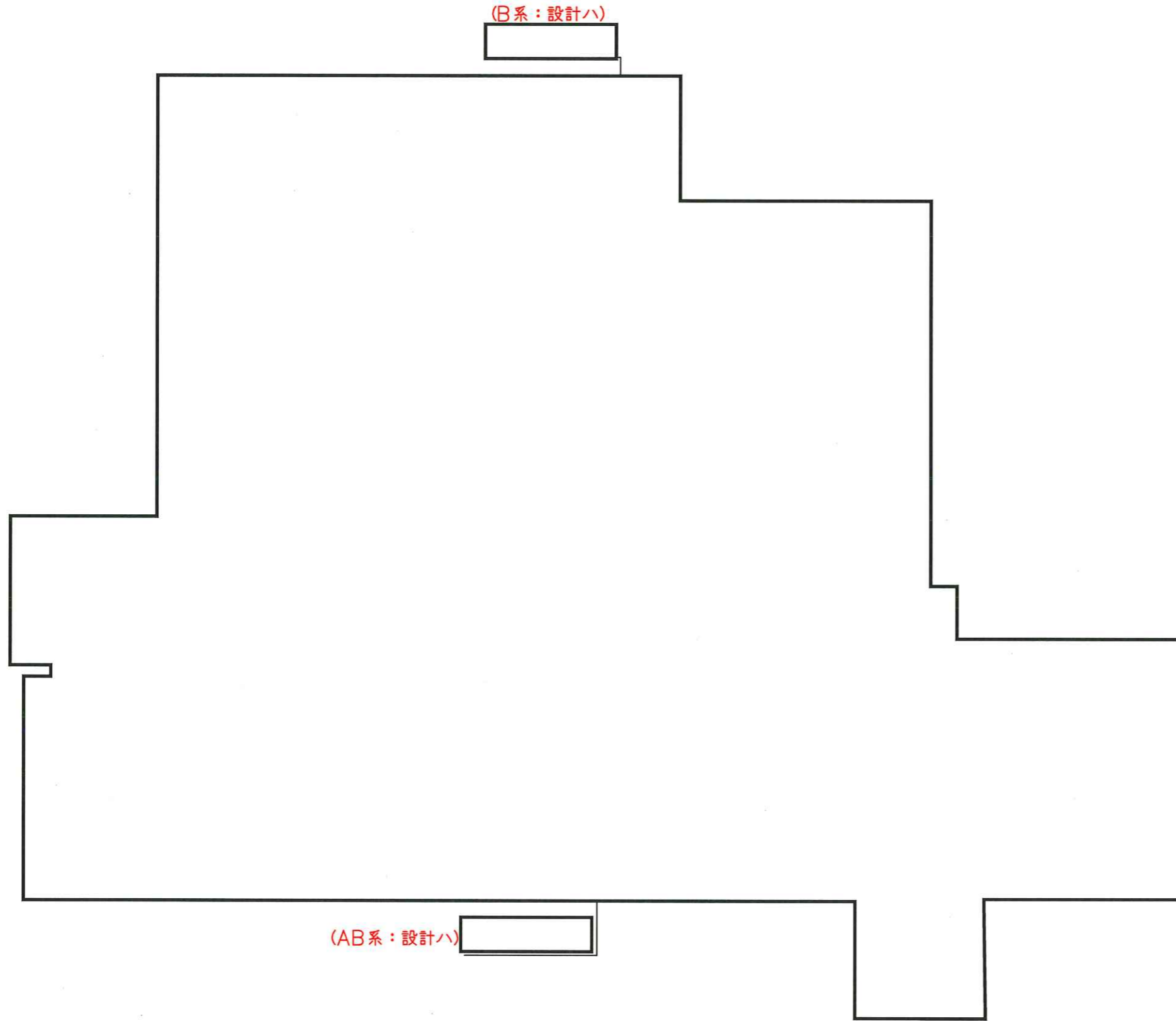
(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(新設)
スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

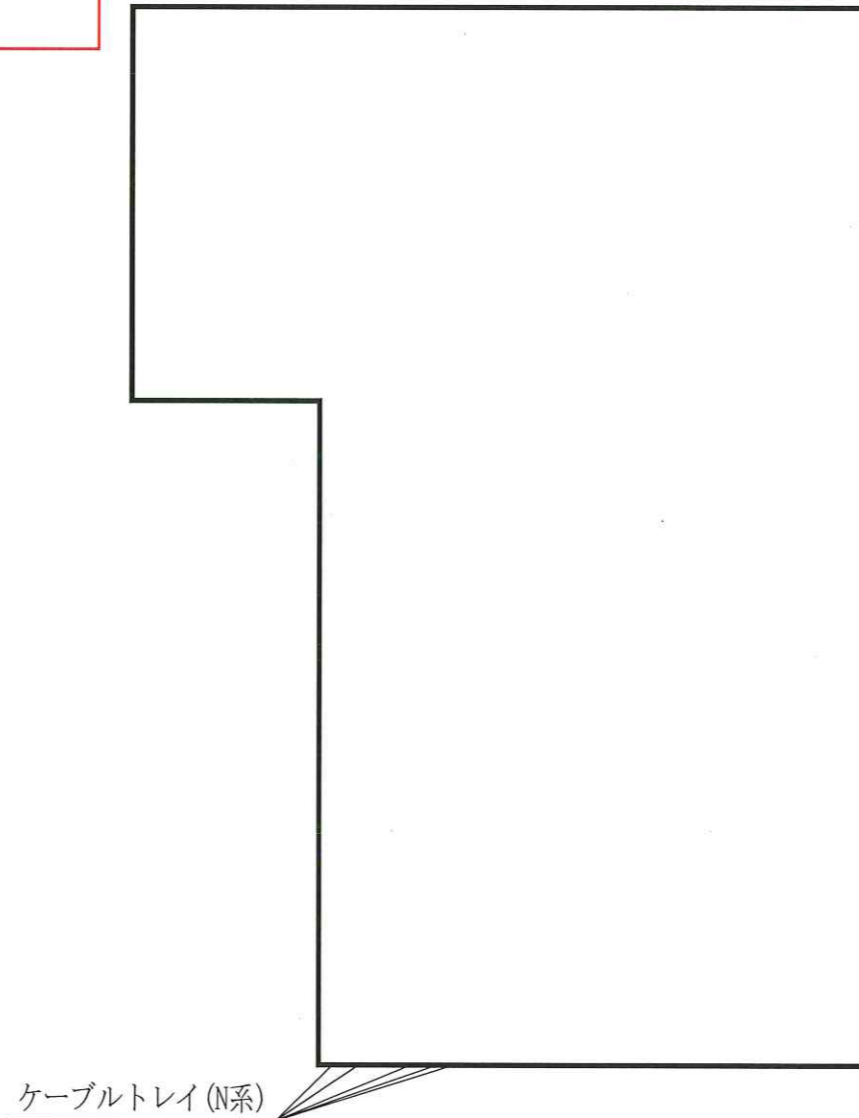
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

- 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

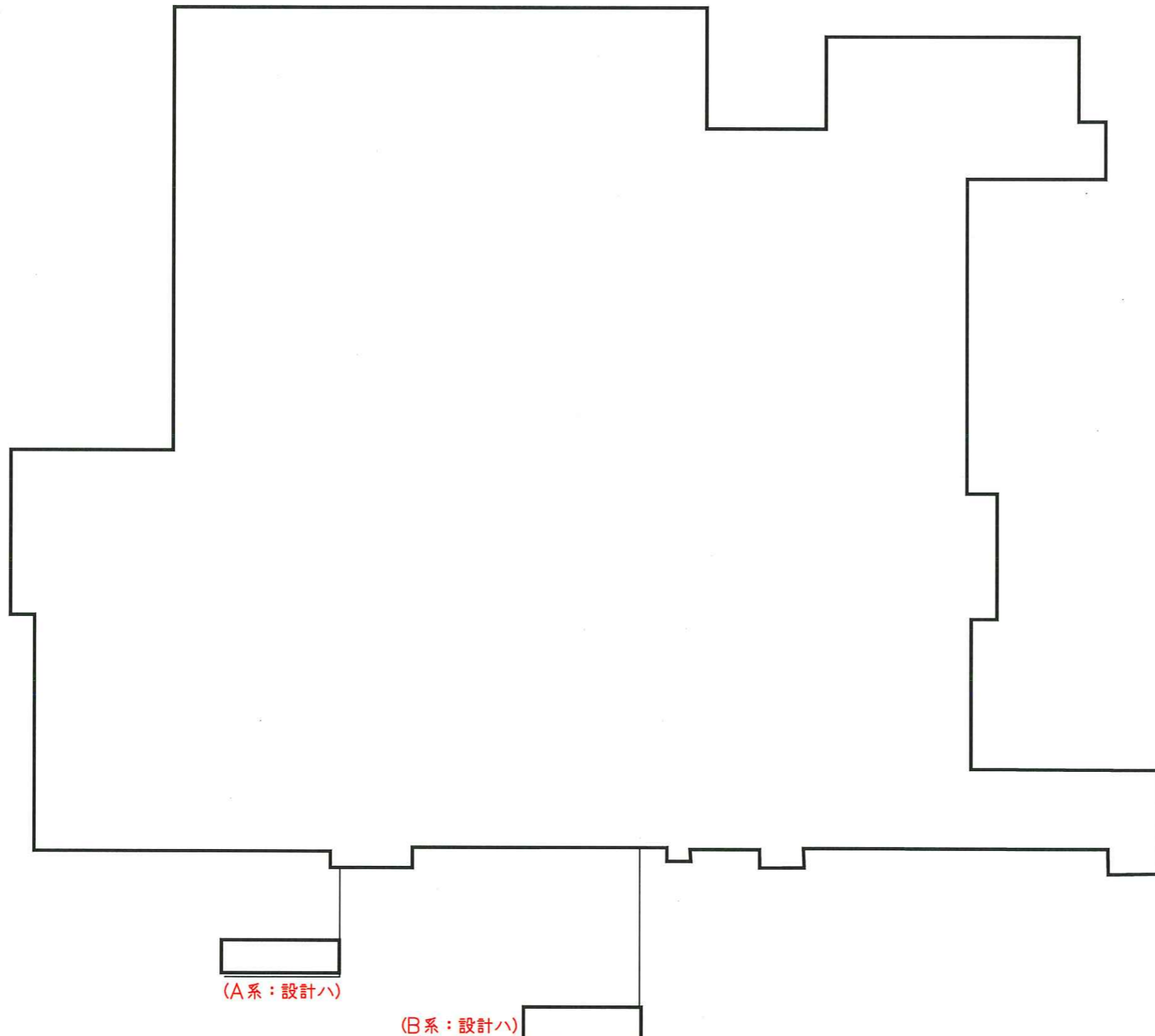
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

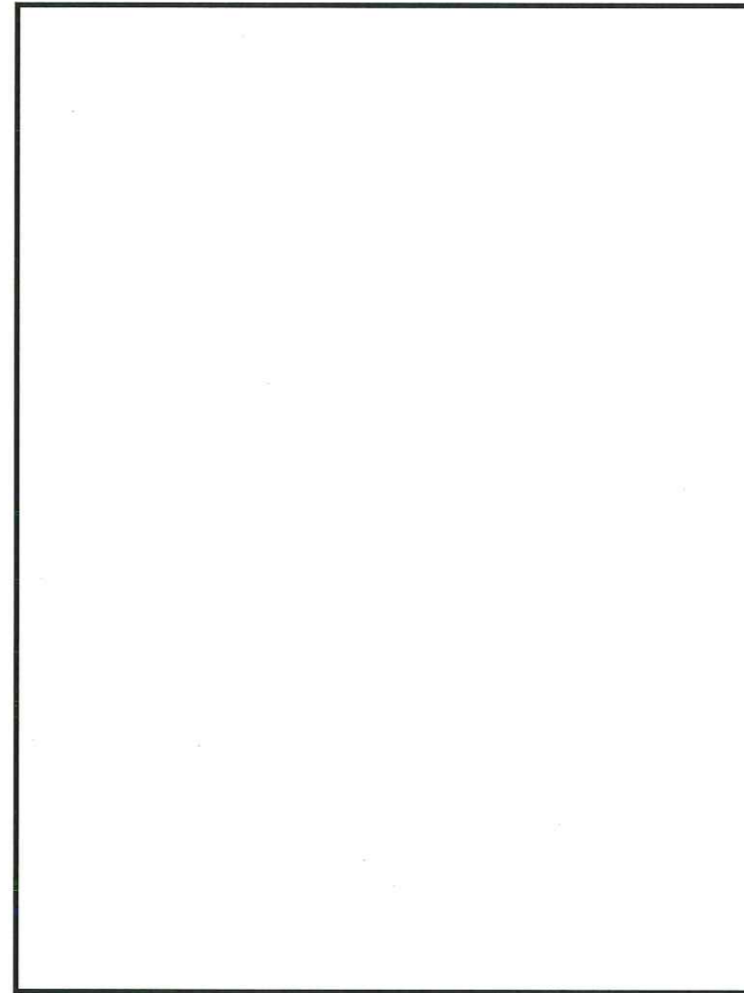
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



ケーブルトレイ (A系)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

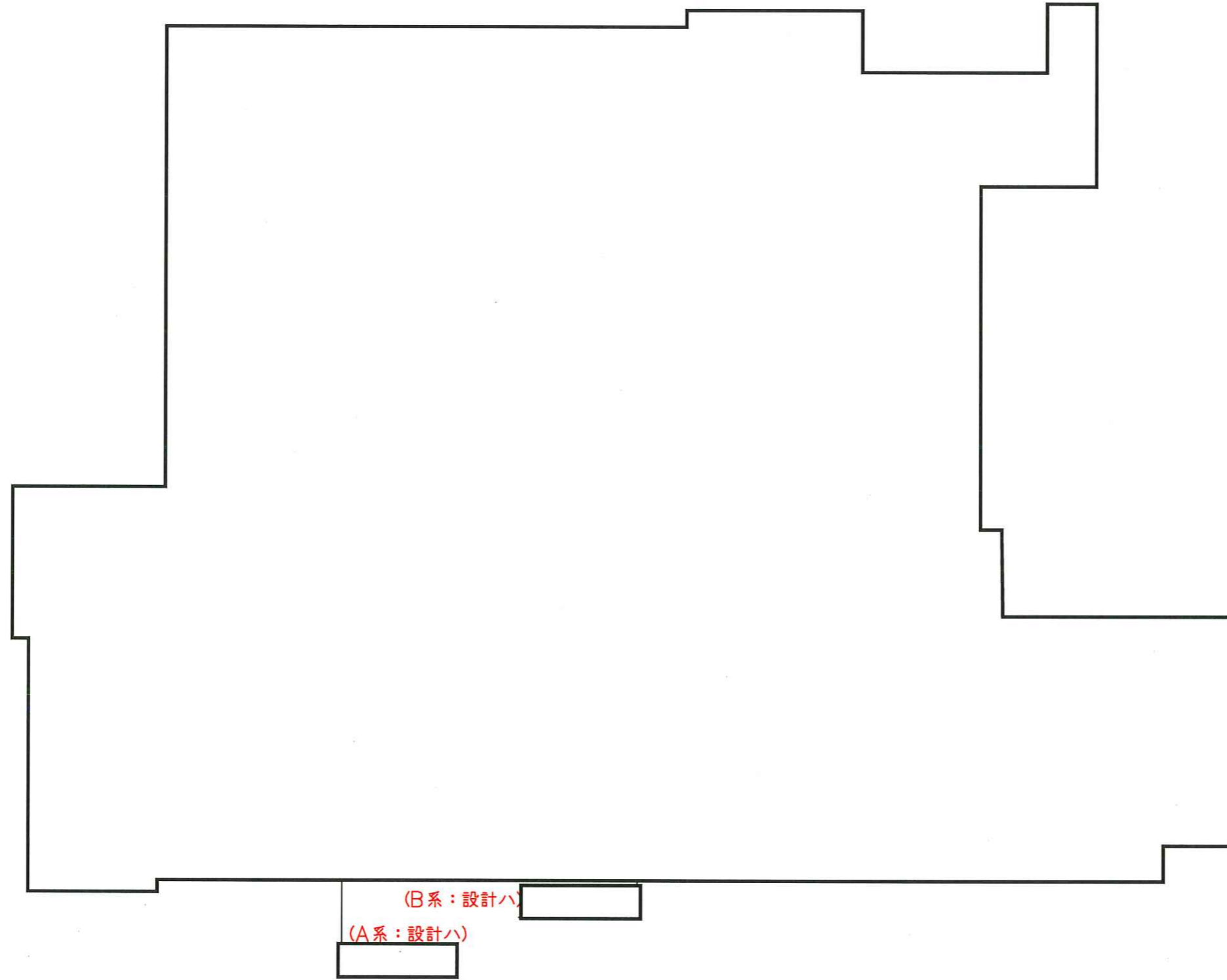
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】
電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】
6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

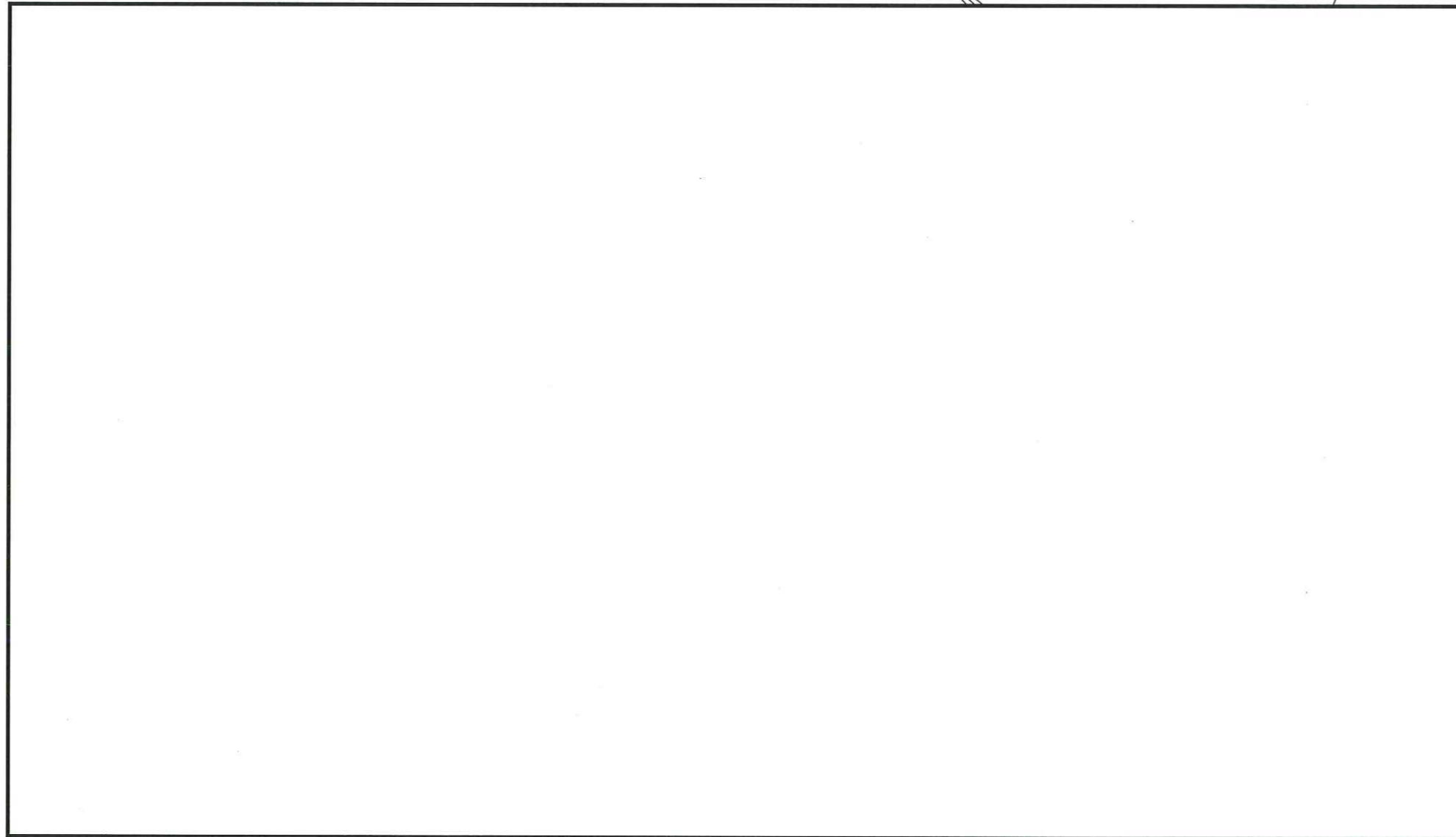
隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

ケーブルトレイ(B系)

ケーブルトレイ(N系)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

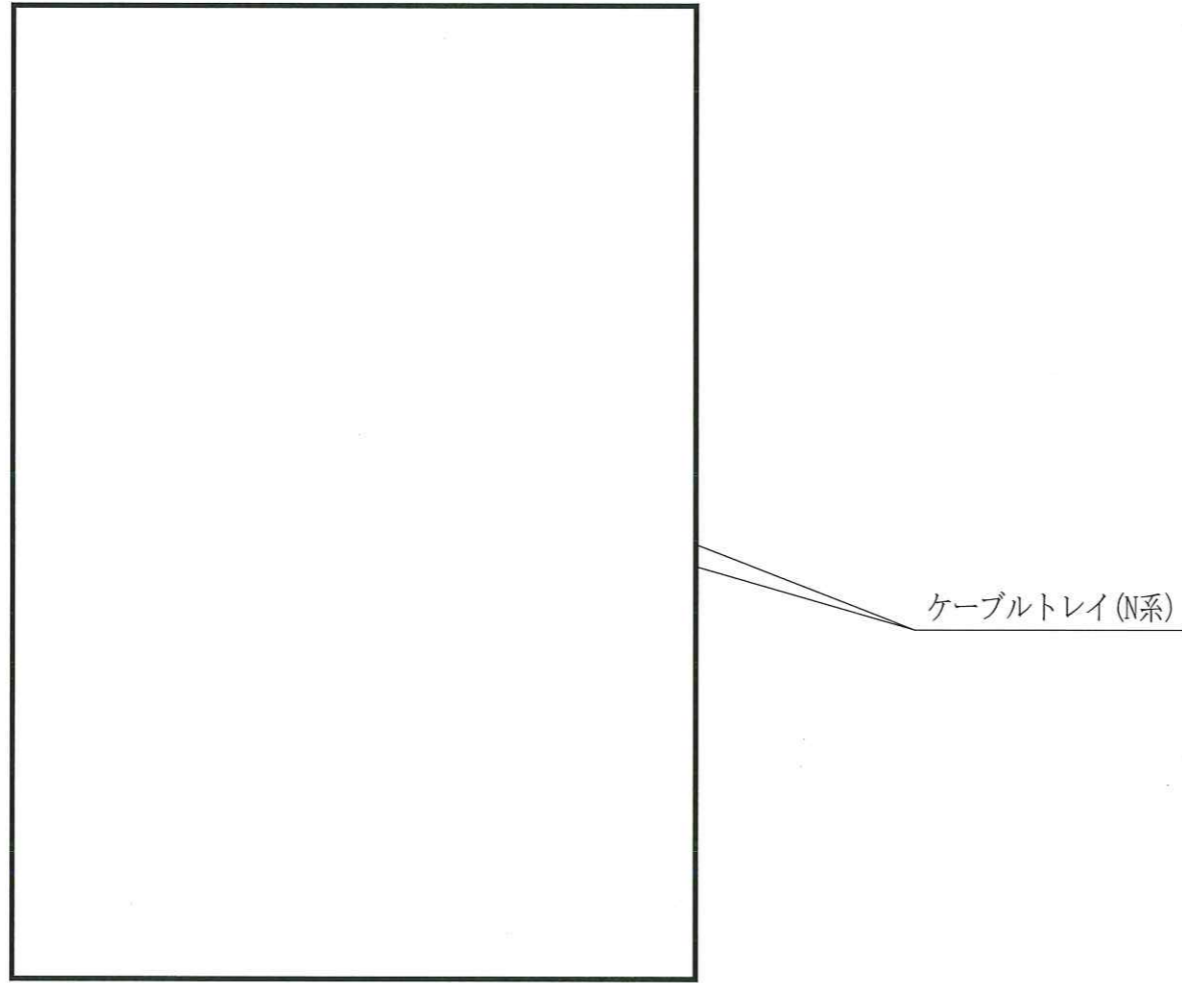
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

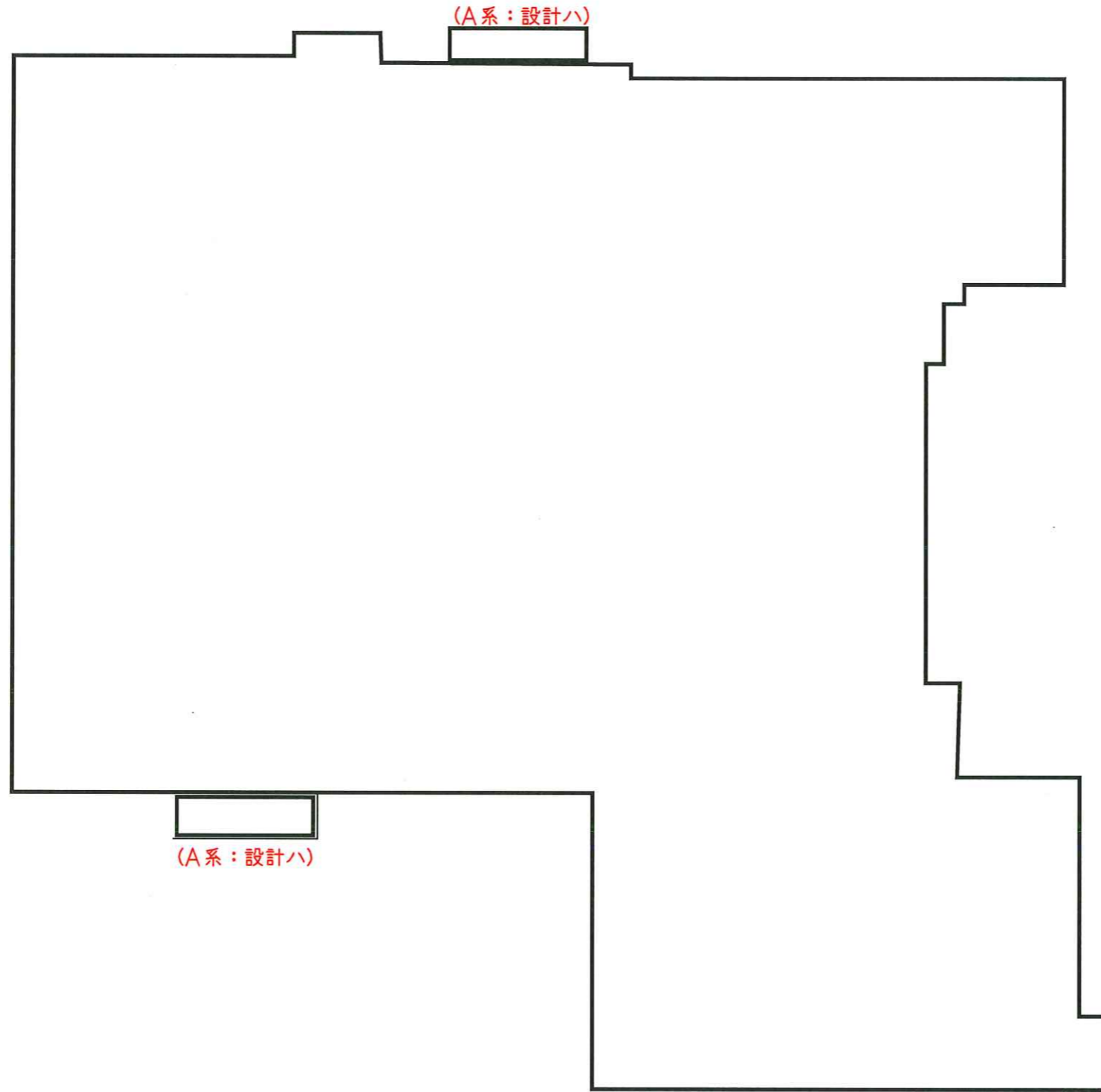
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。